資料４

帯広市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果

＜単純集計＞

帯広市市民福祉部こども福祉室こども課

令和６年２月

目次

調査概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

アンケート調査結果

1　世帯の状況について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2　子育ての環境について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3　母親と父親の就労状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

4　育児休業や短時間勤務制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

5　定期的な教育・保育施設の利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

6　非定期的な教育・保育事業の利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

7　子どもの病気の際の対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

8　小学校入学後の放課後の過ごし方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

9　地域の子育て支援事業の利用状況について ・・・・・・・・・・・・・・・・２５

10　子育てに関する公的支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

参考資料

帯広市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るアンケート調査

調査概要

1　調査目的

子ども・子育て支援法に基づく「第三期帯広市子ども・子育て支援事業計画（2025～2030 年度）」策定に向けて、教育・保育および子ども・子育て支援事業等の利用状況、利用希望党を把握するために実施したもの。

2　調査の概要

（1）調査の種類

未就学児童の子ども・子育て支援に関する現状及び利用ニーズ把握のための調査

（2）調査期間

郵送配布・回収（未就学児）令和 5 年 12 月 12 日～令和 6 年 1 月 22 日

（3）調査対象・回収状況

調査の種類	配布数	有効回答票数 （有効回答票率）	抽出方法
未就学児調査	1,700	1,155（67.9%）	令和 5 年 5 月 1 日現在で 0 ～5 歳児である者のうち 1,700 人を地区区分の構成割合により案分し、住民基本台帳から抽出。

3　速報版集計結果に関する留意事項

・お子さんの年齢は、令和 5 年 4 月 1 日現在の年齢。（０～５歳児クラスと同義）
・今回は、主要な項目について「速報版」として整理したものであり、確定値ではないため今後変更となる場合があり、精査のうえ最終報告を行う予定である。
・集計上、各項目で未記入等不明分を除いた回収数を記載しているため、上記の回収数と一致しないことがある。
・結果数値（%）は小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の計が合計（100%）に一致しないことがある。
・各設問の選択肢当については、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。
・図中の「ｎ＝」は、有効回答数を表している。
・児童保育センターに通う就学児へのアンケート調査については、利用している児童の継続意向等に関するものとして現在調査中である。

1　世帯の状況について

（1）地区別の回収結果

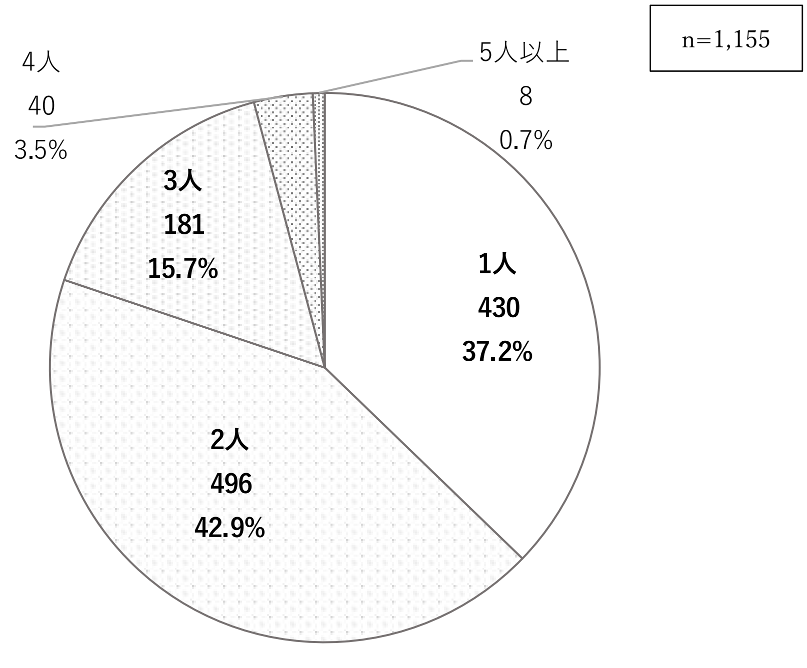
各地区とも回収率が 60％台で、クラス年齢ごとの回収率も 60％台となり、バランスのとれた結果が得られた。

クラス年齢	東	鉄南	西	川北	西帯広	南	農村	合計	配布数	回収率
0歳児	30	36	82	34	27	40	6	255	367	69.5%
1歳児	26	37	56	26	18	47	12	222	335	66.3%
2歳児	15	19	54	29	23	42	7	189	287	65.9%
3歳児	23	21	37	22	20	35	5	163	251	64.9%
4歳児	12	19	41	19	15	31	6	143	228	62.7%
5歳児	12	13	49	27	21	25	5	152	232	65.5%
合計	118	145	319	157	124	220	41	1,124	1,700	66.1%
配布数	175	228	468	236	182	352	59	1,700		
回収率	67.4%	63.6%	68.2%	66.5%	68.1%	62.5%	69.5%	66.1%		

※地区不明者 31 名を除く

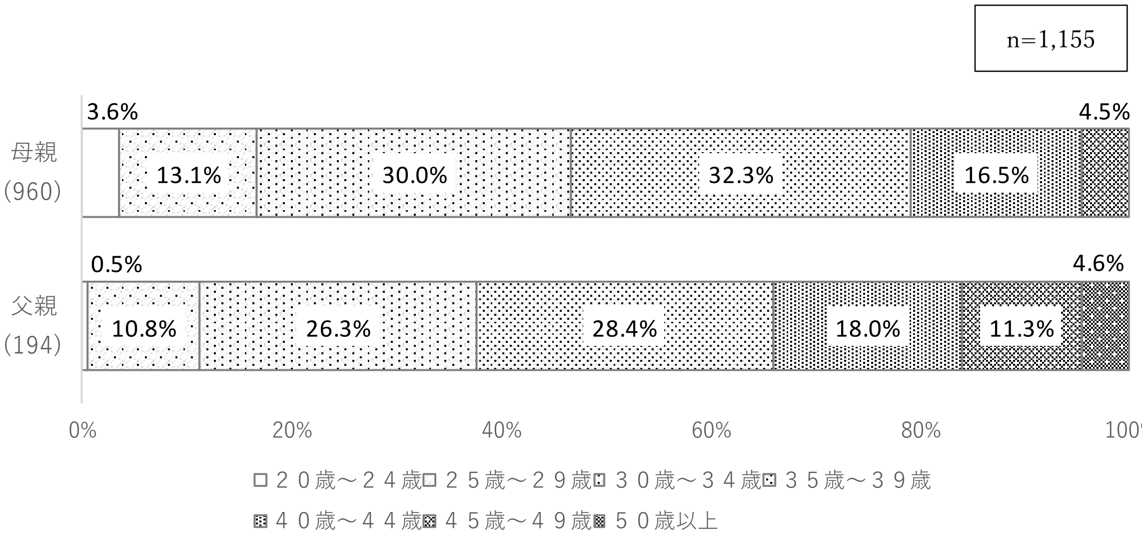
（2）子どもの人数［問 1］

子どもの数では、全体で「２人」が最も多く 42.9%、次に「１人」が 37.2%、「３人」が 15.7%となっている。



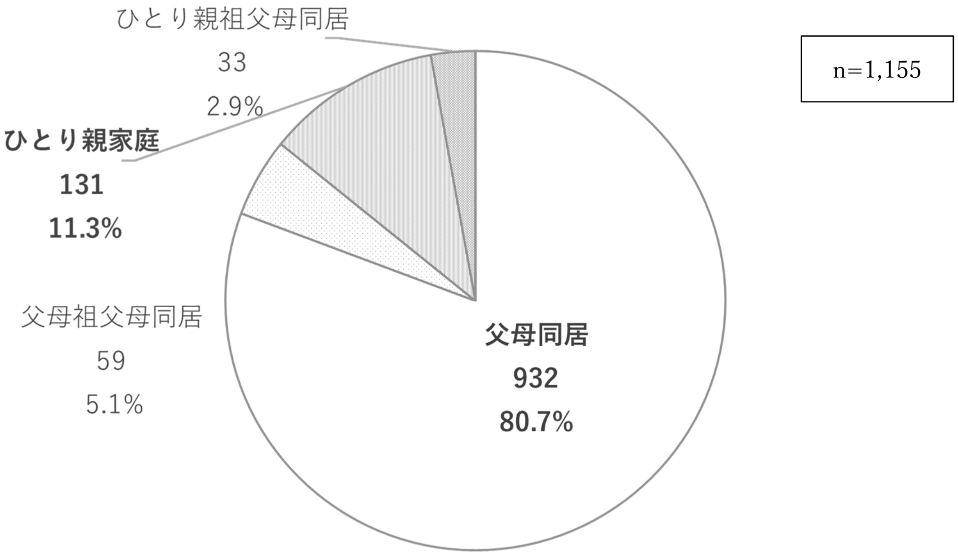
（3）アンケート回答者の属性［問 3］

回答者は、母親が 960 件（全体の 83.1%）、父親が 194 件（全体の 16.8%）となっている。回答者の半数以上が 30 歳代となっている。その他が 1 件だった。



（4）家族形態［問 4］

家族形態では、全体で「両親世帯」が 85.8%、うち「祖父母同居の両親世帯」が 5.1%、「ひとり親世帯」が 14.2%、うち「ひとり親の祖父母同居世帯」が 2.9%などとなっている。

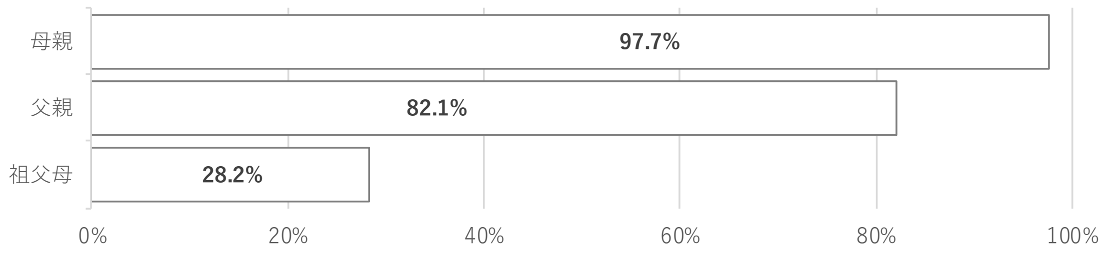


2　子育ての環境について

（1）子育てに日常関わる人［問 5］

母親が 97.7%、父親が 82.1%、祖父母が 28.2%であった。

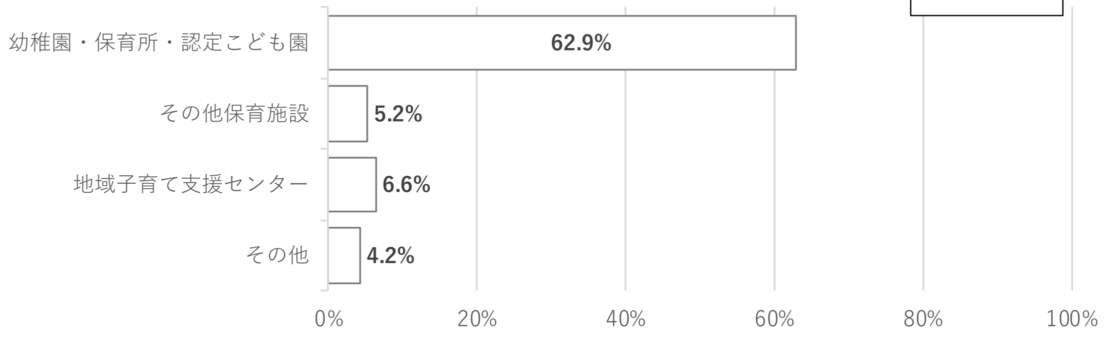
n=1,154



（2）子育てに日常関わる施設等［問 5］

幼稚園・保育園・認定こども園が 62.9%、地域子育て支援センターが 6.6%、その他保育施設 5.2%であった。

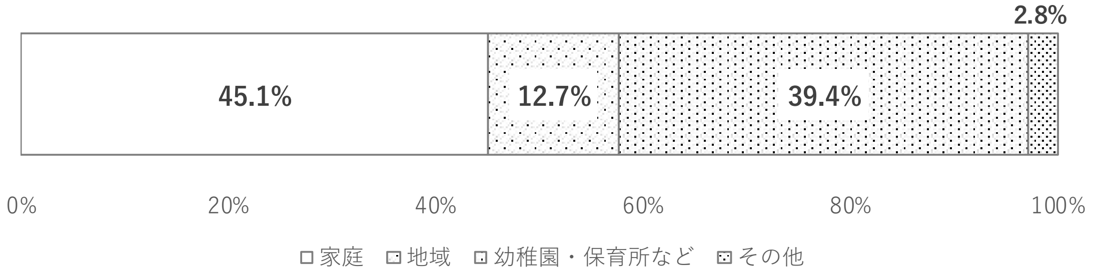
n=1,154



（3）子育てや成長に、影響が大きいと思われるもの［問 6］

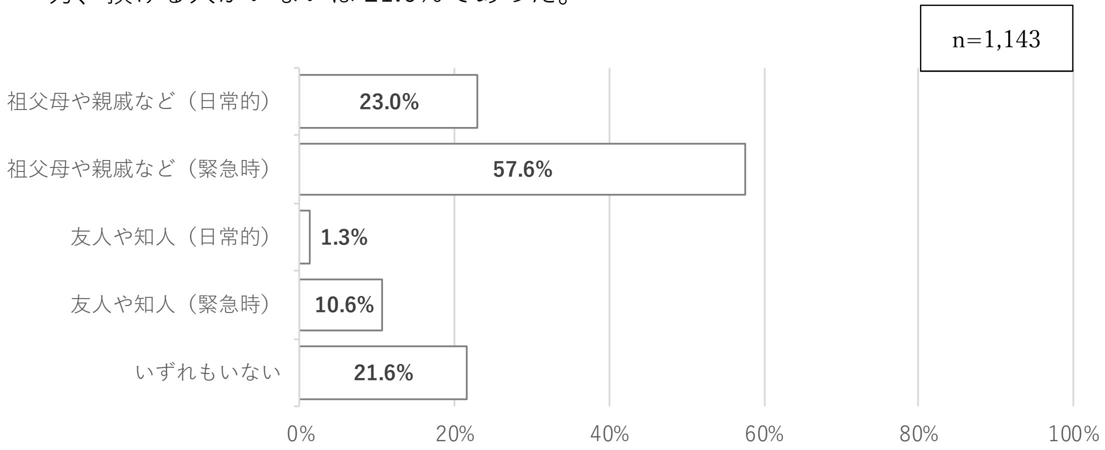
家庭が 45.1%、幼稚園・保育所が 39.4%、地域が 12.7%であった。

n=1,141



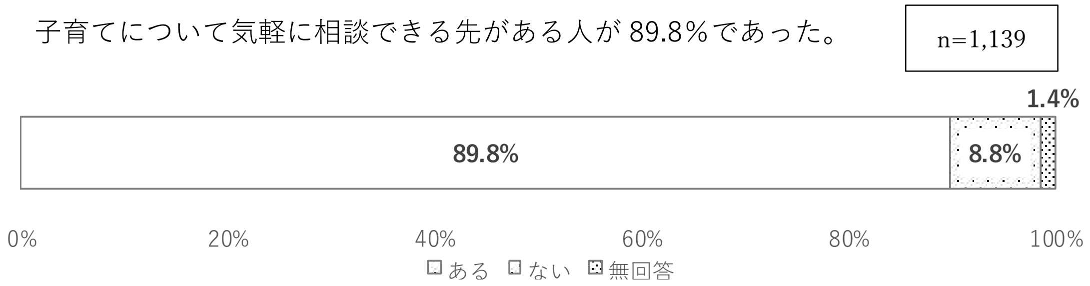
（4）預かってもらえる人［問 7］

日常的に預かってもらえる祖父母や親戚などは 23.0%、友人や知人は 1.3%であった。緊急時もしくは用事の際に祖父母や親戚などは 57.6%、友人や知人は 10.6%であった。一方、預ける人がいないは 21.6%であった。



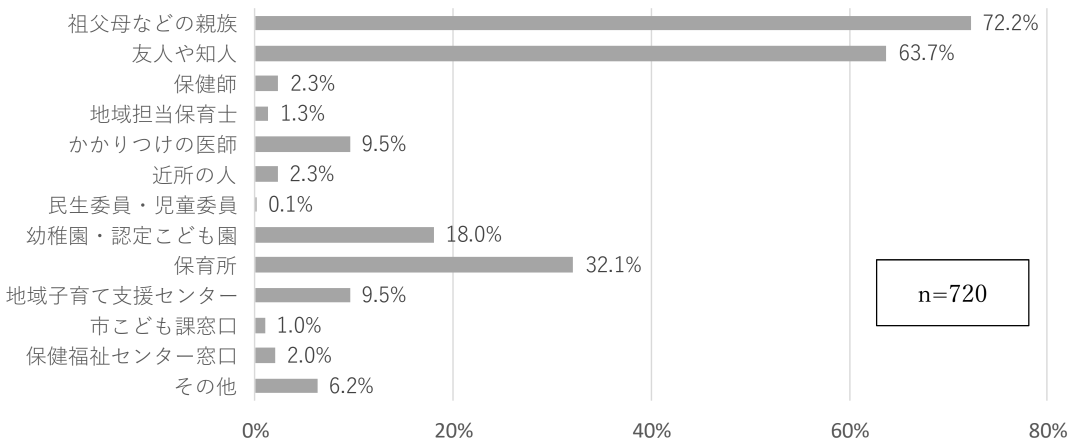
（5）子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無［問 8］

子育てについて気軽に相談できる先がある人が 89.8%であった。



（6）子育てについて気軽に相談できる先［問 8－1］

祖父母などの親戚が 72.2%、友人や知人が 63.7%、保育所が 32.1%、幼稚園・認定こども園が 18.0%、かかりつけの医師及び地域子育て支援センターが 9.5%であった。

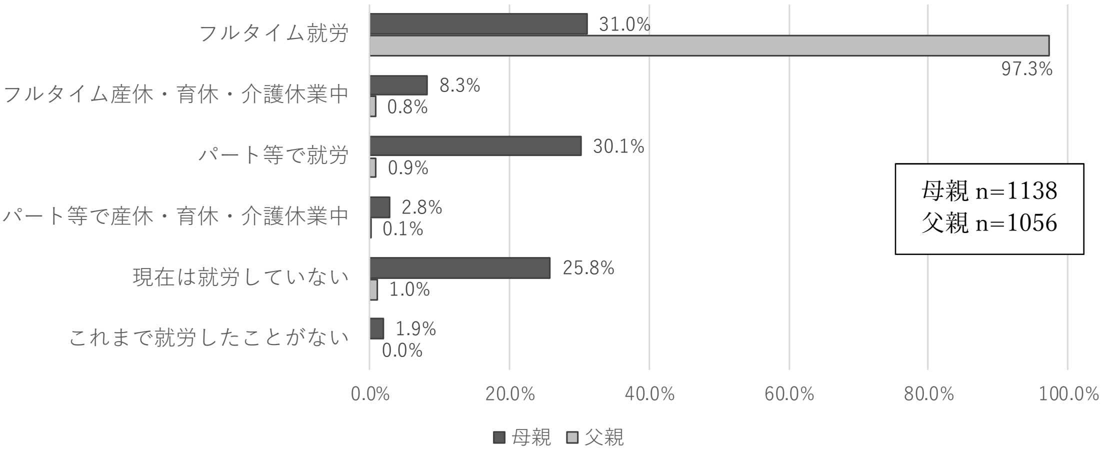


3　母親と父親の就労状況

（1）母親と父親の就労状況［問 10、14］

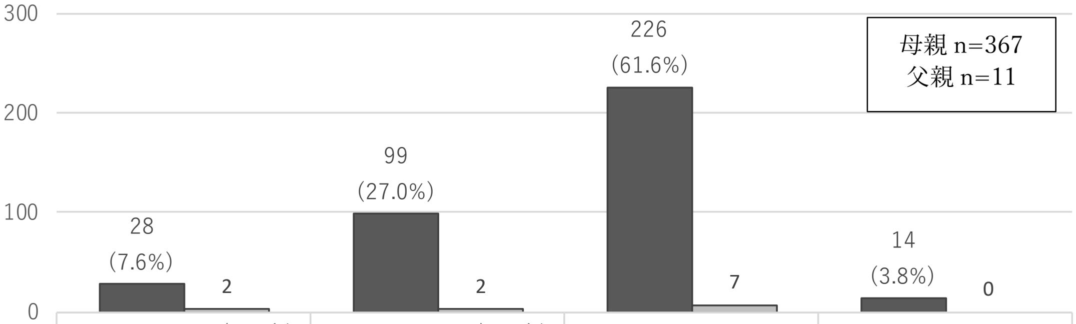
母親の就労状況は、フルタイム・パート・アルバイト等勤務を合わせて 61.1%となっており、産休・育休・介護休業中が合わせて 11.1%となっている。母親が「現在就労していない」のは 25.8%となっている。

父親の就労状況は、フルタイム就労が 97.3%であった。



（2）フルタイム以外の就労中、フルタイムへの転換希望［問 11、15］

現在の就労を継続するが 61.6%、フルタイムへの変更希望見込みなしが 27.0%、変更希望見込みありが 7.6%であった。

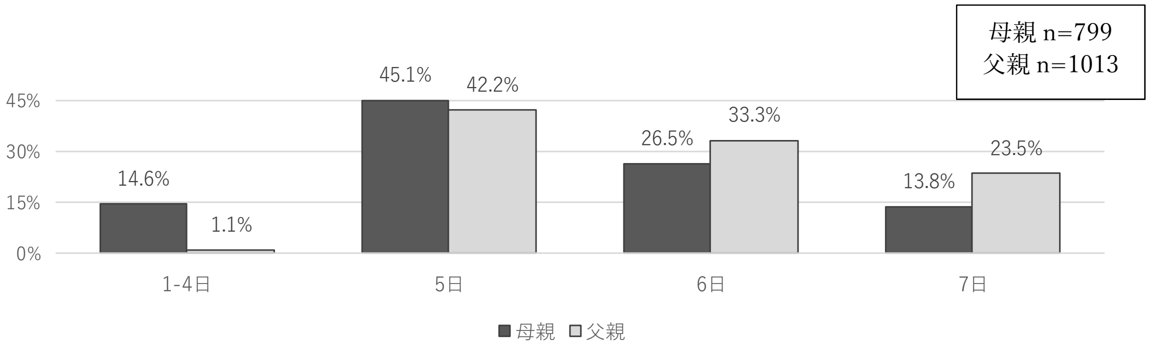


	フルタイムへの変更希望見込みあり	フルタイムへの変更希望見込みなし	現在の就労を継続	現在の就労をやめたい
母親	28	99	226	14
父親	2	2	7	0

■母親 ■父親

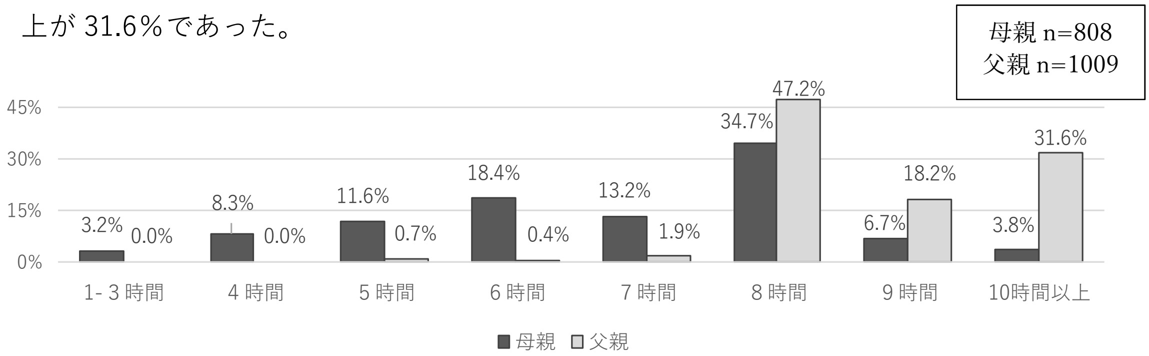
（3）母親と父親の1週間の就労日数［問 12、16］

母親・父親ともに5日で 40%強を占め、次いで6日、7日の順であった。



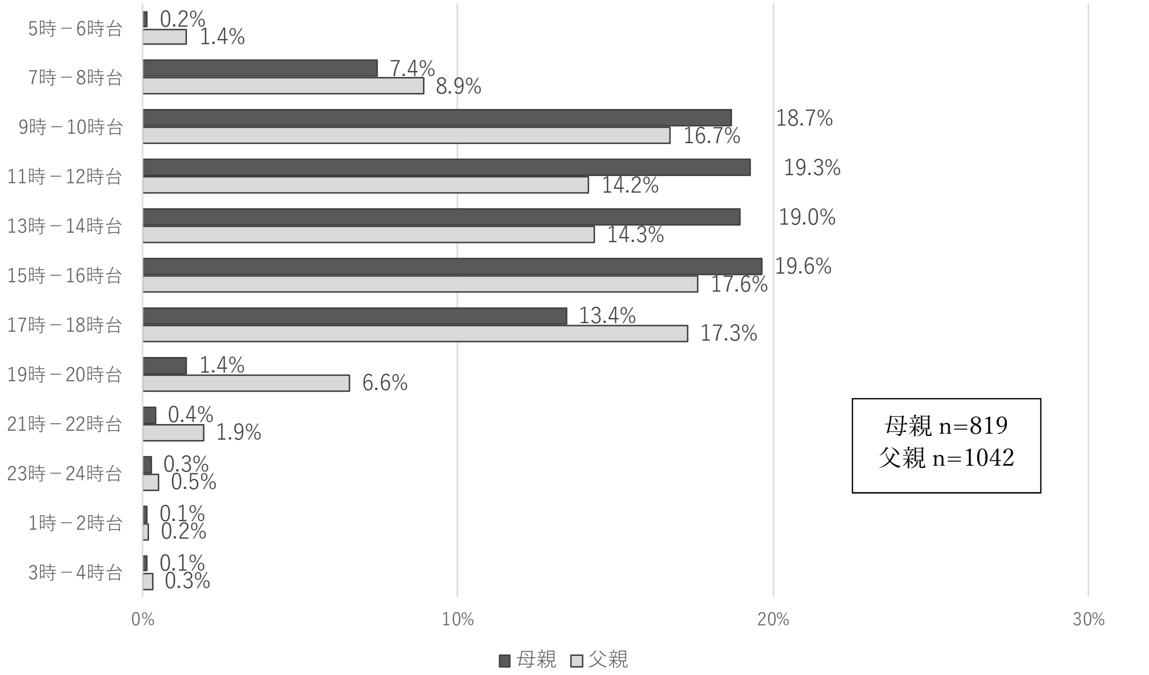
（4）母親と父親の1日の就労時間［問 12、16］

母親は8時間が 34.7%、6時間が 18.4%であった。父親は8時間が 47.2%、10 時間以上が 31.6%であった。

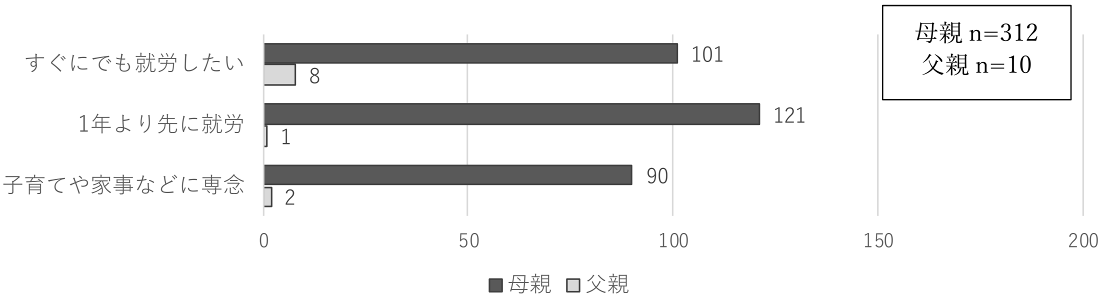


（5）母親と父親の就労時間帯［問 12、16］

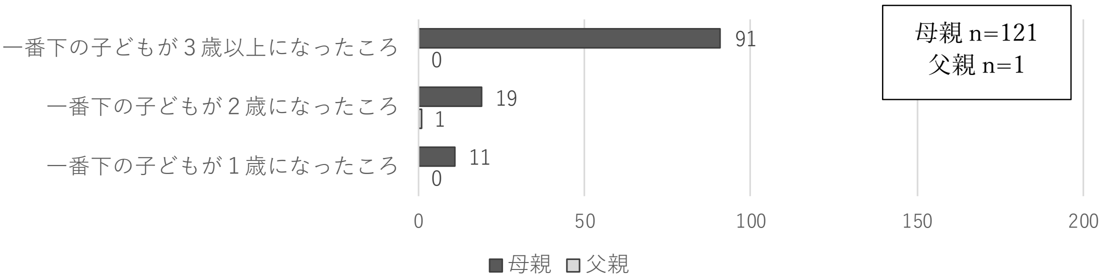
母親は9時から１８時の時間帯で、父親は7時から２０時の時間帯で 90%超であった。



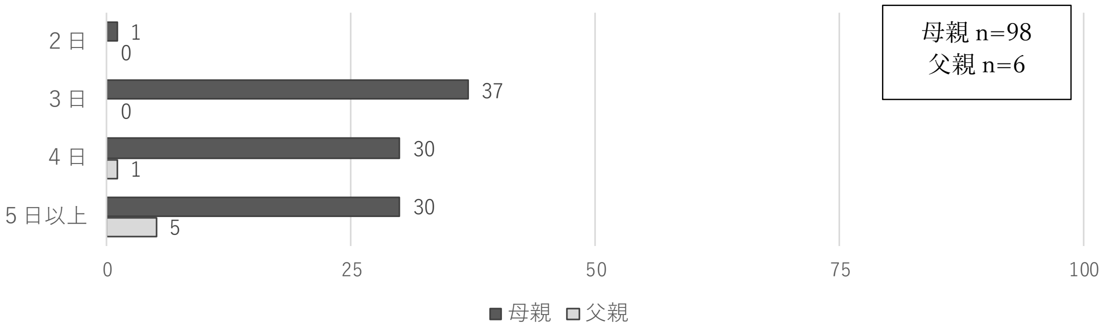
（6）現在就労していない母親と父親の今後の就労希望［問 13、17］



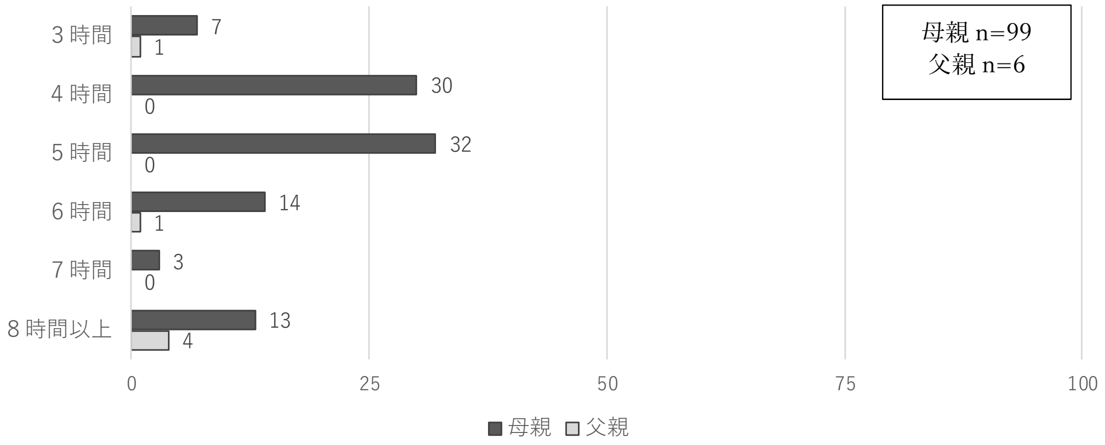
（7）一番下の子どもが何歳になったころ就労したいか［問 13、17］



（8）就労した際の１週間あたりの就労希望日数［問 13、17］



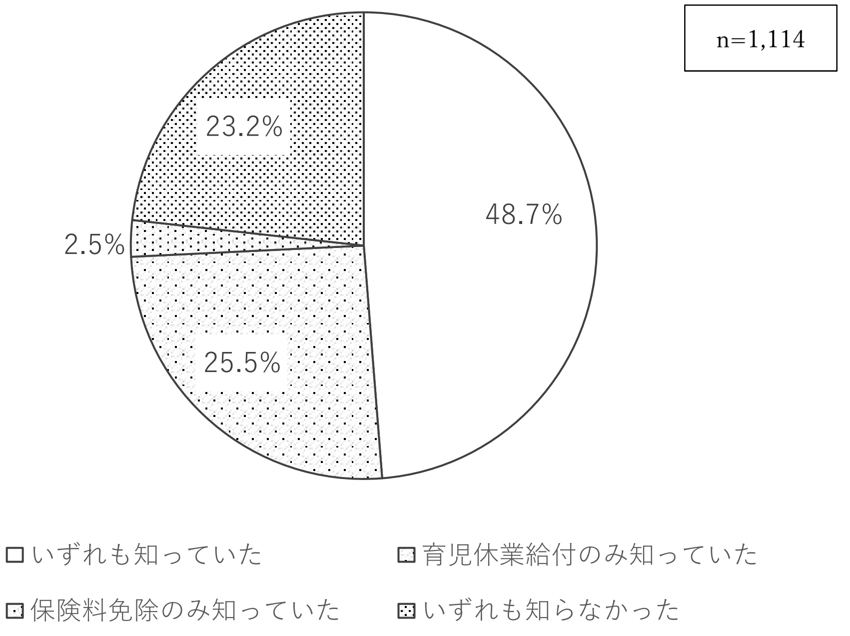
（9）就労した際の１日あたりの就労希望時間［問 13、17］



4　育児休業や短時間勤務制度

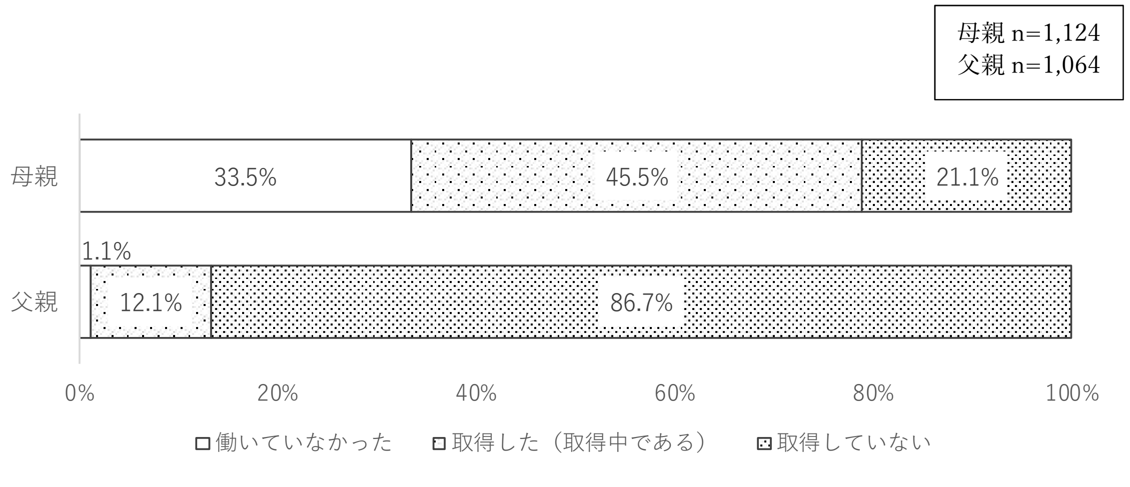
（1）育児休業給付や保険料免除の仕組み［問 18］

いずれも知っていたが 48.7%、いずれも知らなかったが 23.2%であった。



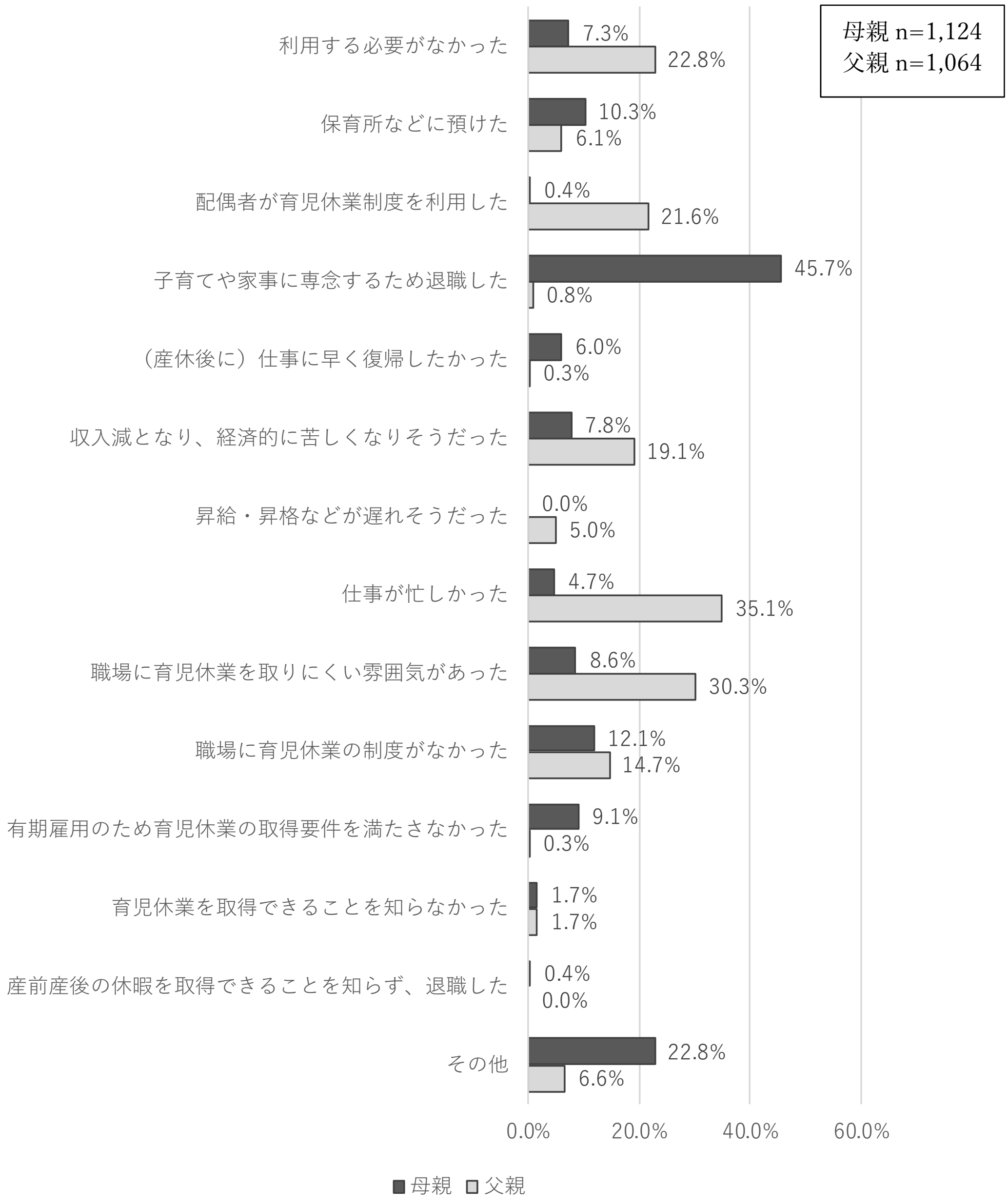
（2）育児休業制度の取得状況［問 19、問 20］

取得していない父親が 86.7%、取得した母親が 45.5%でもっと多かった。



（3）育児休業を取得しなかった理由［問 19、20］

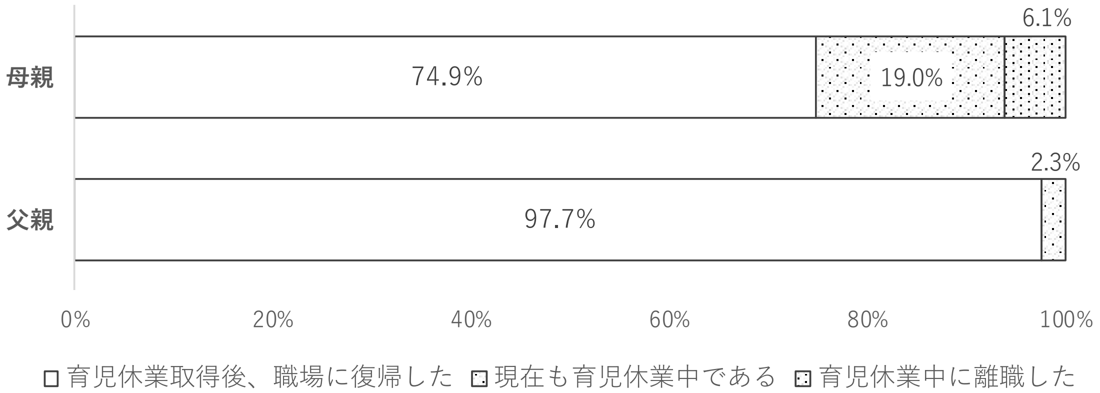
母親は「子育てや家事に専念するため退職した」45.7％が多く、父親は「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」などが多かった。



（4）育児休業取得後の復帰［問 19-1、20-1］

母親の復帰は 74.9%、育児休業中は 19.0%、離職は 6.1%であった。
父親の復帰は 97.7%、育児休業中は 2.3%であった。

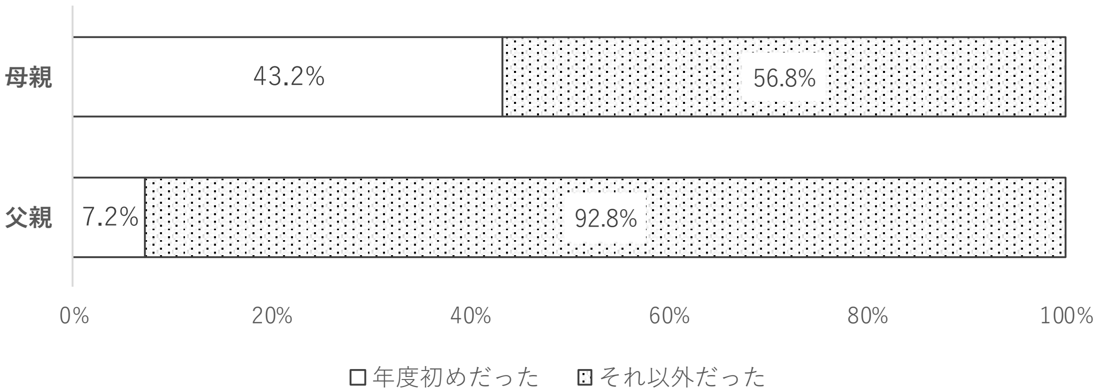
母親 n=510
父親 n=128



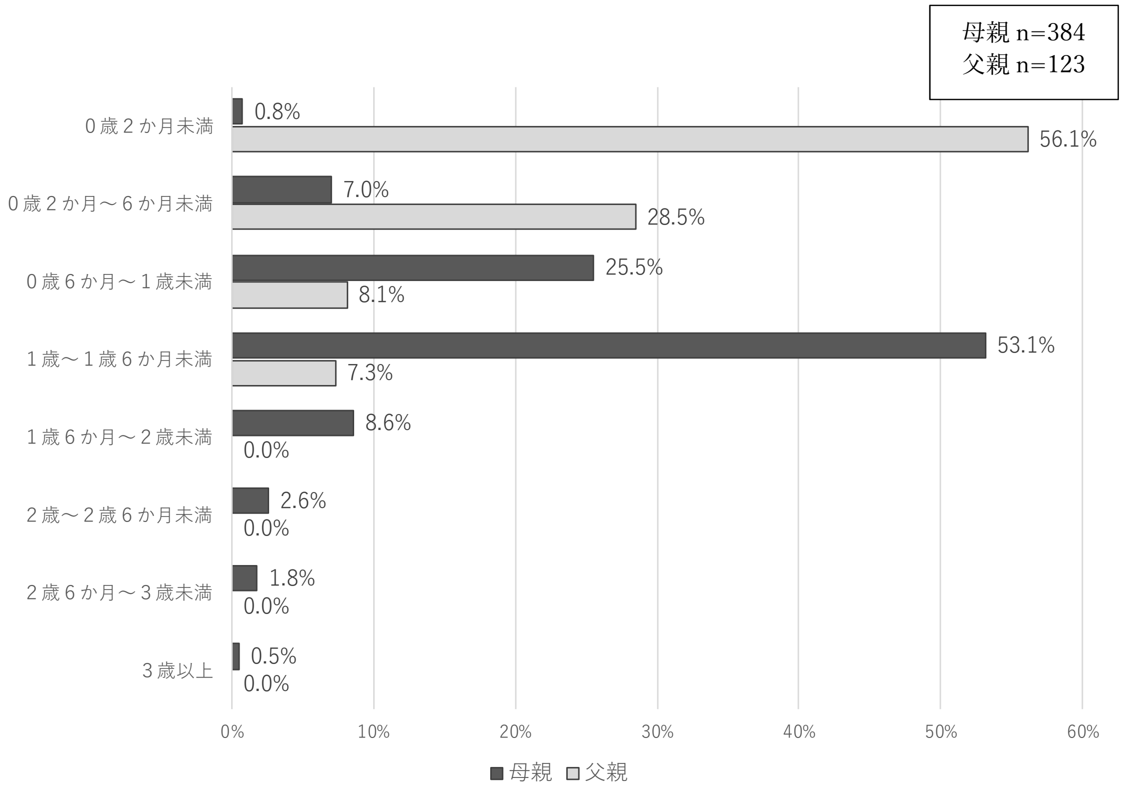
（5）育児休業取得後の復帰時期［問 19-2、20-2］

母親の復帰は 56.8%が年度初めでなく、43.2%が年度初めであった。
父親の復帰は 92.8%が年度初めでなかった。

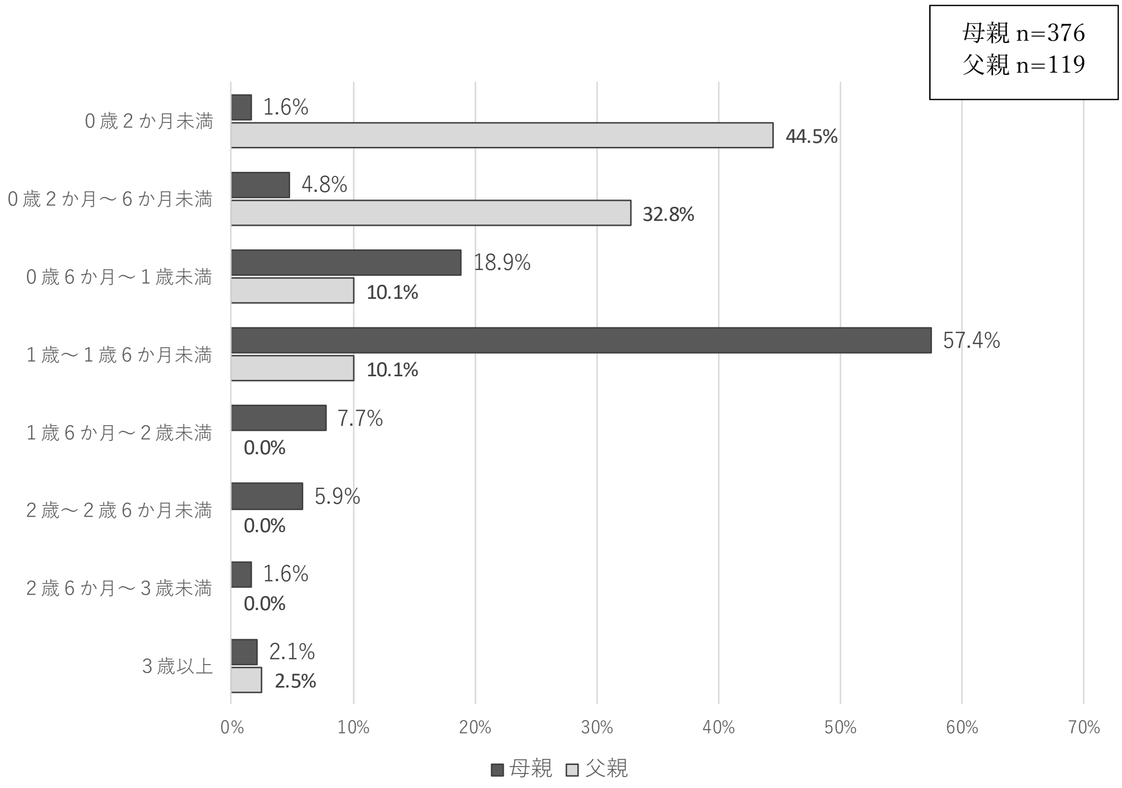
母親 n=382
父親 n=125



（６）実際に何歳何か月の時に育児休業から職場復帰したか［問 19-3、20-3］

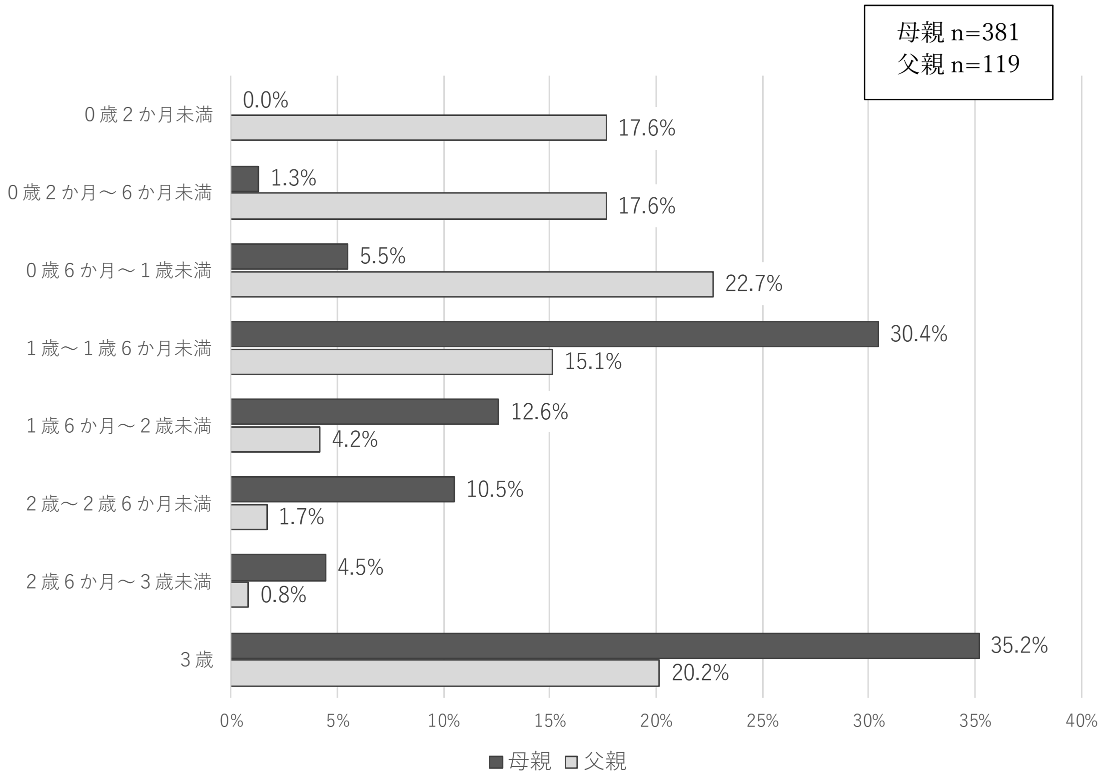


（７）何歳何か月の時に育児休業から職場復帰を希望したか［問 19-3、20-3］



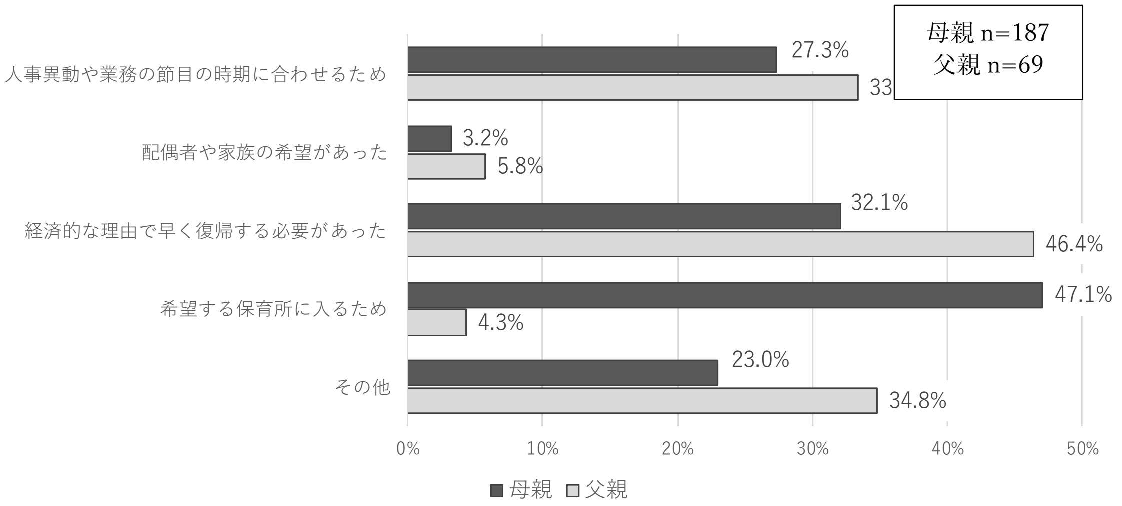
（８） ３歳までの育児休業制度があった場合の取得期間［問 19-4、20-4］

母親の取得希望期間は１歳～１歳６か月未満で 30.4%、３歳までで 35.2%であった。父親の取得希望期間は０歳２か月未満及び０歳６か月～１歳未満で 22.7%、３歳までで 20.2%であった。



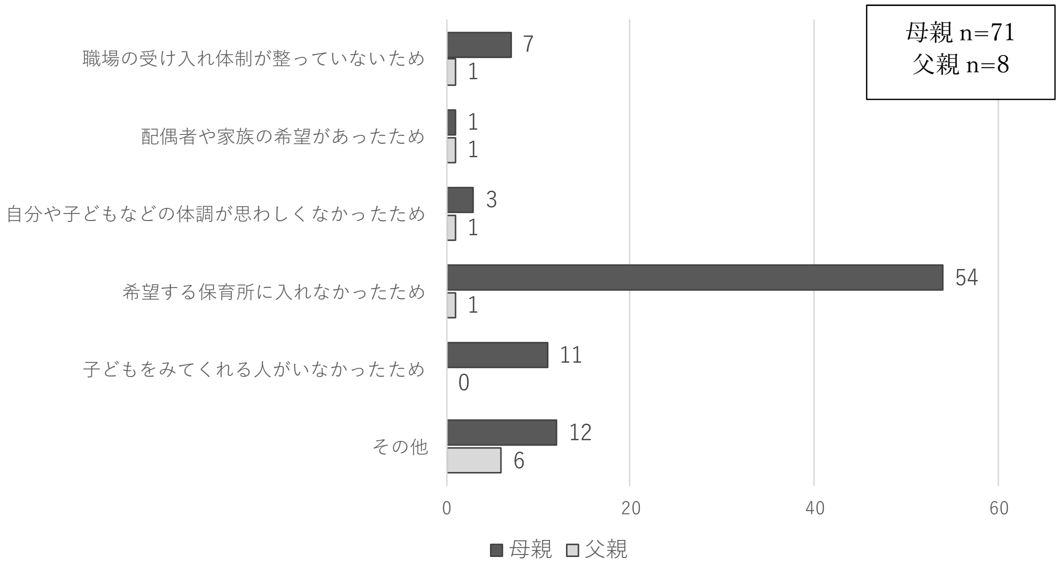
（９）希望より早く育児休業を職場復帰した理由［問 19-5、20-5］

母親は希望する保育所に入るためで 35.5%、経済的な理由で早く復帰する必要があったで 24.2%であった。父親は経済的な理由で早く復帰する必要があったで 37.2%であった。



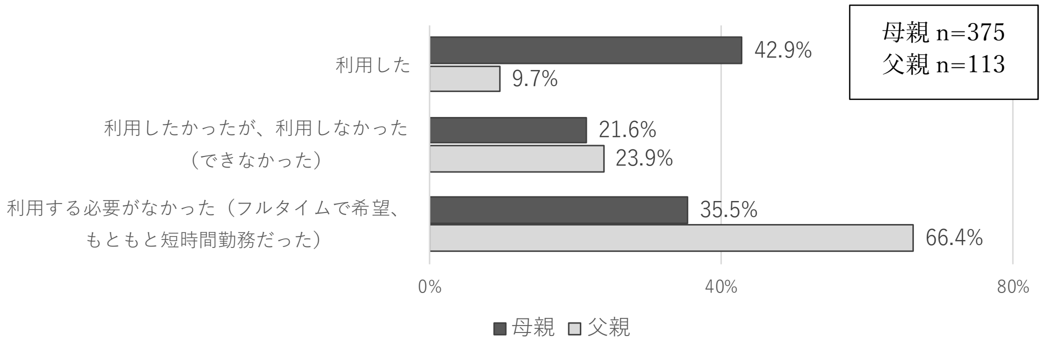
（１０）実際の職場復帰が、希望の時期より遅くなった理由［問 19-5、20-5］

母親は希望する保育所に入れなかったで 54 件、父親はその他で 6 件であった。



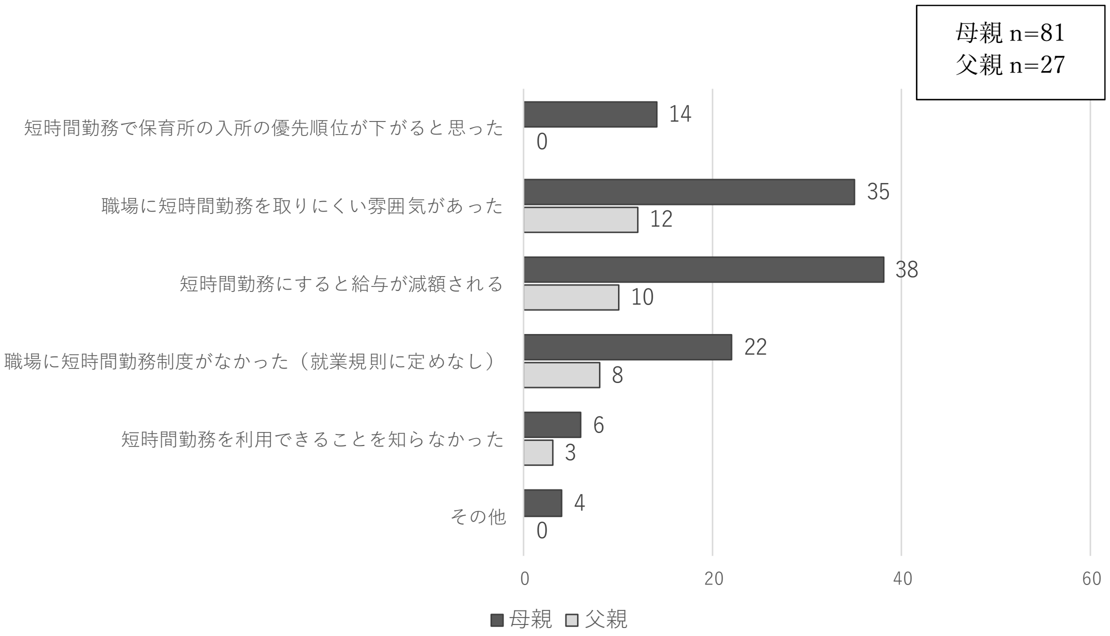
（１１）育児休業からの復帰時、短時間勤務制度の利用［問 19-6、20-6］

母親は利用したで 42.9%、父親は利用する必要がなかったで 66.4%であった。



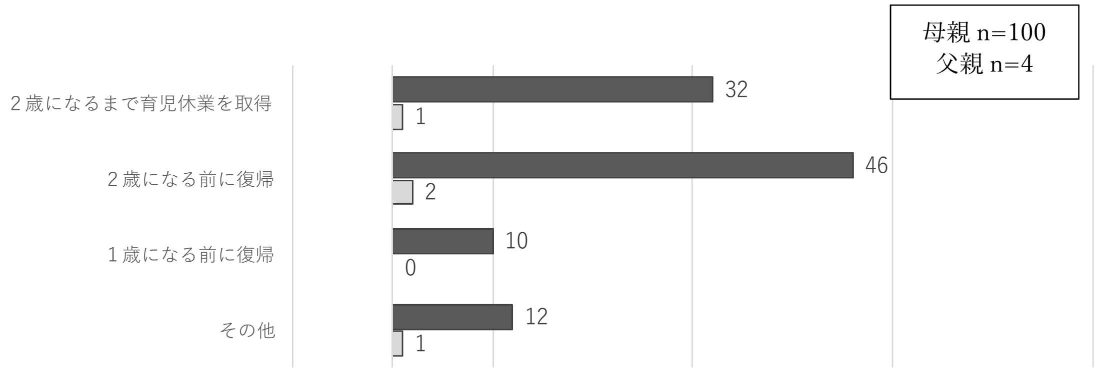
（１２）短時間勤務制度を利用しなかった理由［問 19-7、20-7］

父母ともに、職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があったと、短時間勤務にすると給与が減額されると合わせて 8 割超であった。



（１３）２歳になったときに確実に利用できる保育施設などがあれば、２歳になるまで育児休業を取得するか。または、預けられる保育施設などがあっても２歳になる前に復帰か［問 19-8、20-8］

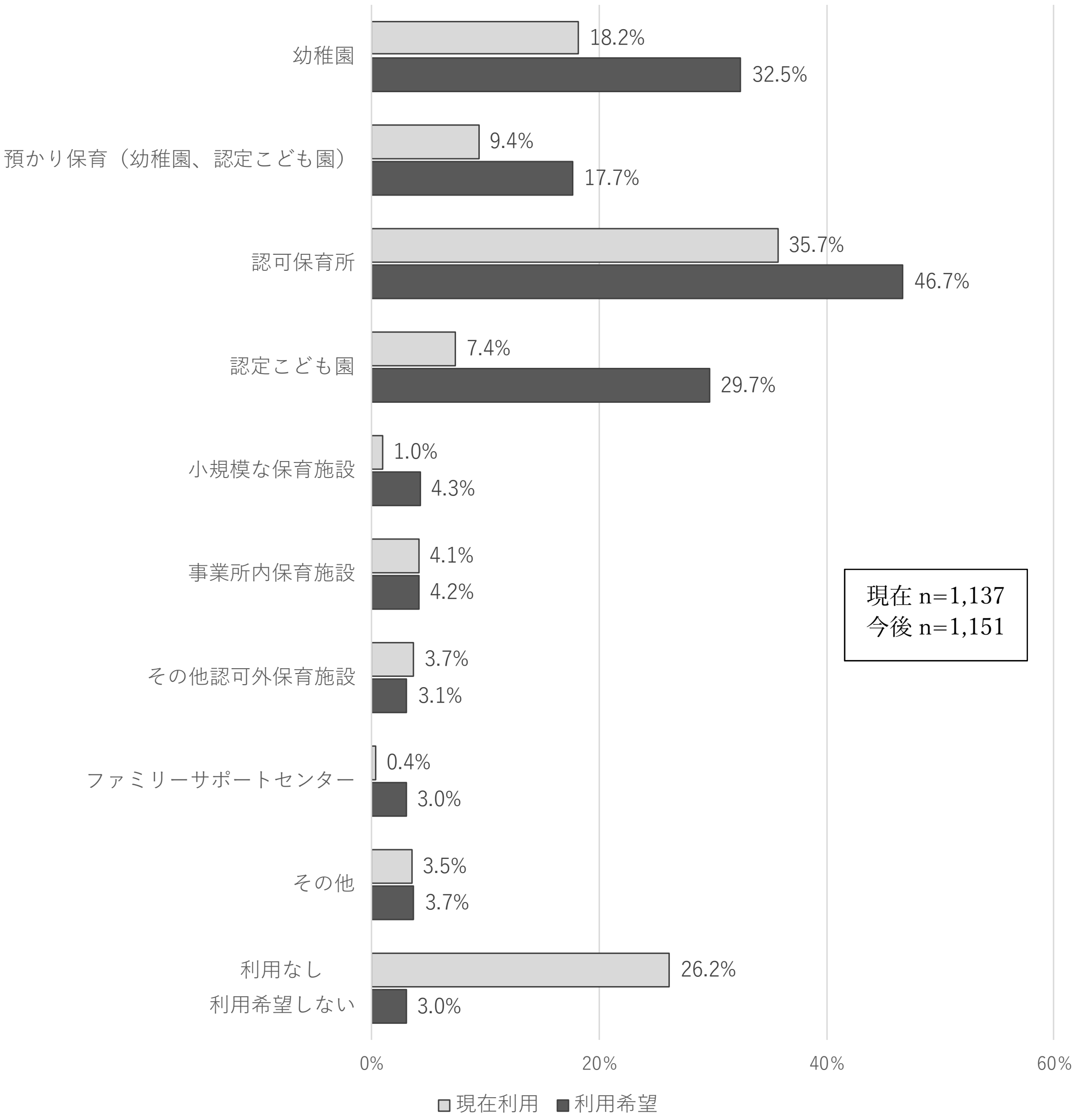
母親は 2 歳になる前に復帰で 46 件、2 歳になるまで育児休業を取得で 32 件であった。



5　定期的な教育・保育施設の利用状況

（1）定期的に利用する教育・保育の事業及び今後の利用希望［問 21］

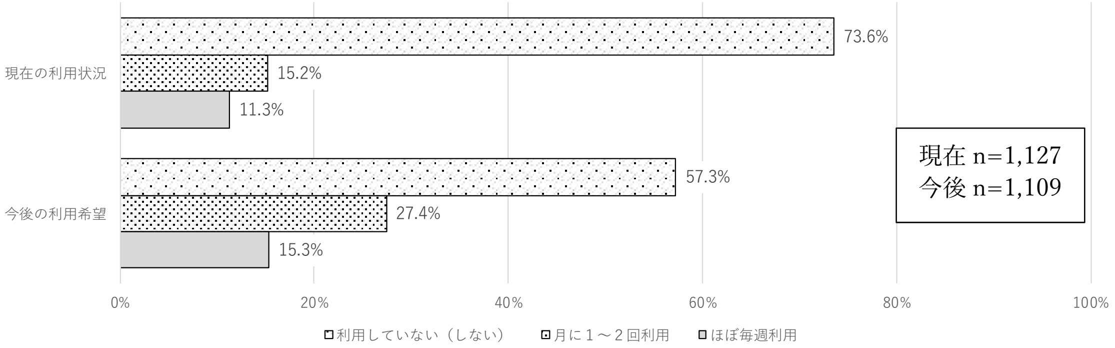
現在利用は認可保育所、利用していない、幼稚園の順に多くなっている。また、現在は利用していないが今後利用を希望する施設や、現在の施設の利用を継続する等を含めると、認可保育所、幼稚園、認定こども園の順に多くなっている。



		幼稚園	預かり保育（幼稚園、認定こども園）	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	その他認可外保育施設	ファミリーサポートセンター	その他	利用なし利用希望しない
現在利用		207	107	406	84	11	47	42	4	40	298
		18.2%	9.4%	35.7%	7.4%	1.0%	4.1%	3.7%	0.4%	3.5%	26.2%
利用希望		374	204	538	342	49	48	36	35	43	35
		32.5%	17.7%	46.7%	29.7%	4.3%	4.2%	3.1%	3.0%	3.7%	3.0%

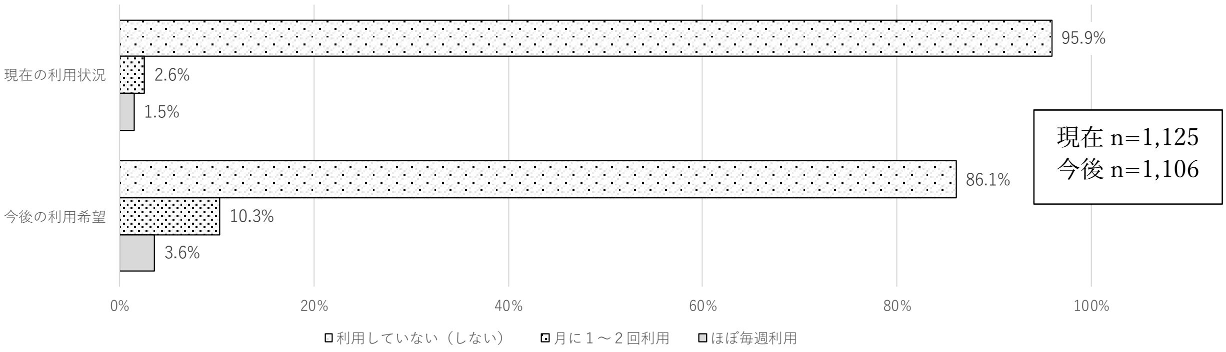
（２）土曜日の定期的に利用する教育・保育の事業利用及び今後の利用希望

現在「利用していない」が 73.6%、今後「利用しない」が 57.3%、今後「月に１～２回利用」が 27.4%、「ほぼ毎週利用」が 15.3%であった。



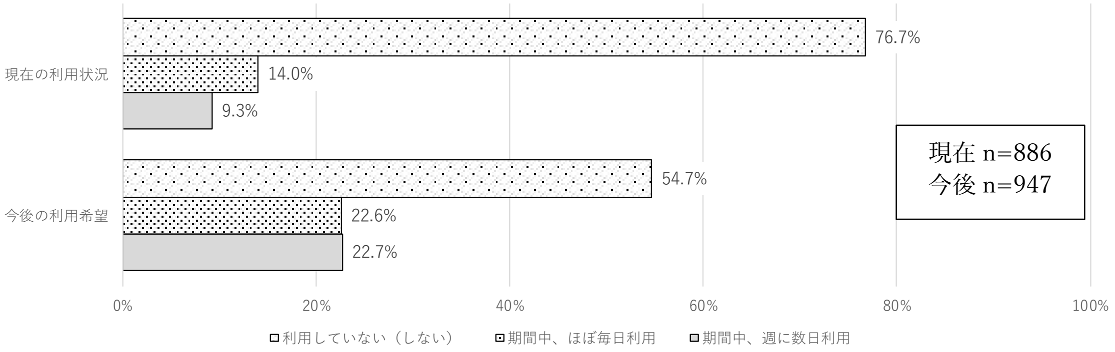
（３）日曜・祝日の定期的に利用する教育・保育の事業利用及び今後の利用希望

現在「利用していない」が 95.9%、今後「利用しない」が 86.1%、今後「月に１～２回利用」が 10.3%、「ほぼ毎週利用」が 3.6%であった。



（４）定期的に利用する教育事業の長期休暇中の事業利用及び今後の利用希望

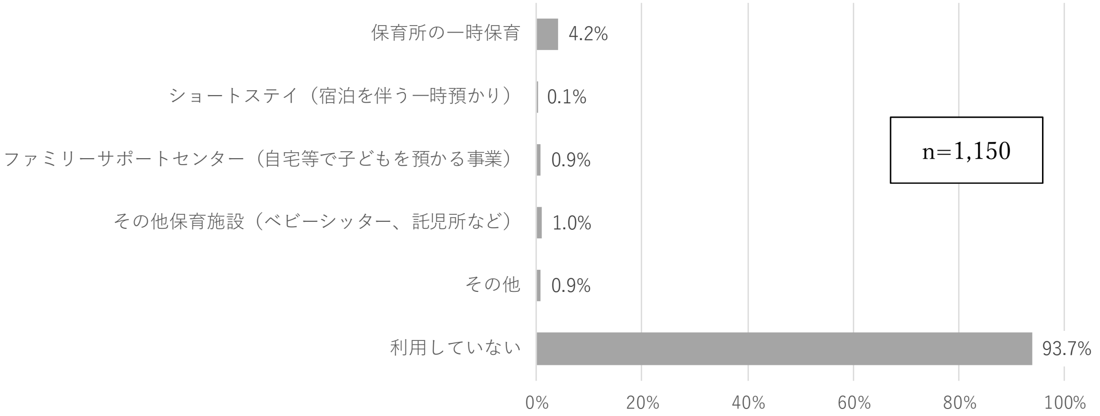
現在「利用していない」が 76.7%、今後「利用しない」が 54.7%、「期間中、週に数日利用」が 22.7%、今後「期間中、ほぼ毎日利用」が 22.6%であった。



6　非定期的な教育・保育事業の利用

（1）定期的な施設の利用以外に、非定期的に利用している事業【問 25】

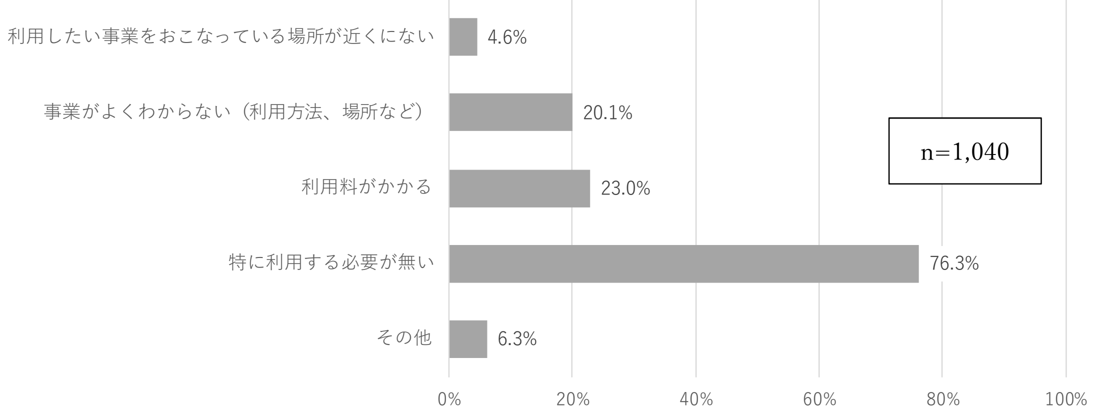
非定期的な事業の利用をしていないが 93.7%、保育所の一時保育が 4.2%であった。



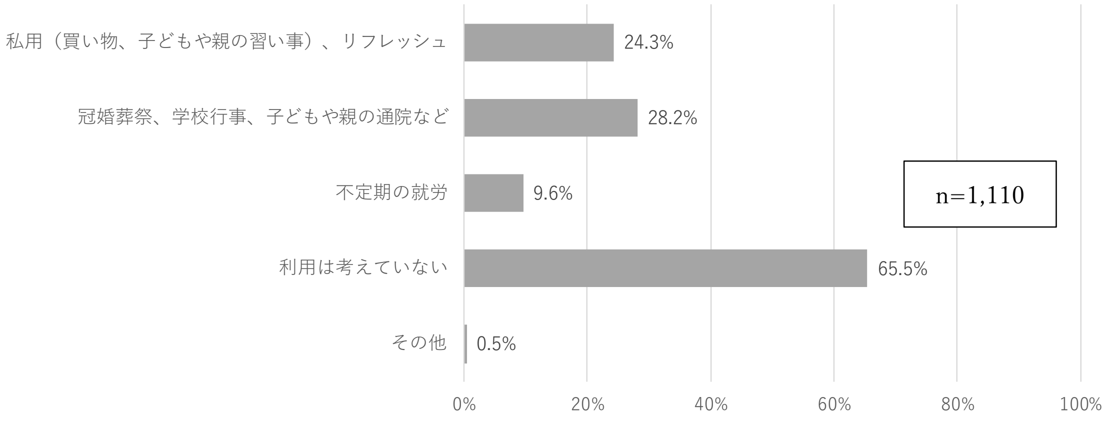
（2）（1）の事業を利用している日数【問 25】

	一時保育	ショートステイ	ファミリーサポートセンター	その他保育施設	その他
２日以内	8	0	1	2	3
５日以内	4	0	8	7	2
１０日以内	6	0	0	0	0
３０日以内	14	0	1	1	1
それ以上	12	0	0	2	3
無回答	4	0	0	0	0

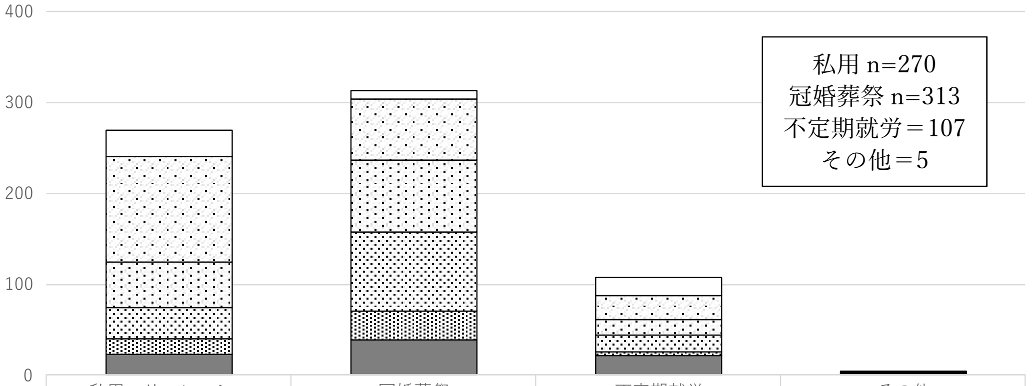
（3）現在利用していない理由【問 25-1】



（4）一時預かり事業等の利用意向【問 26】

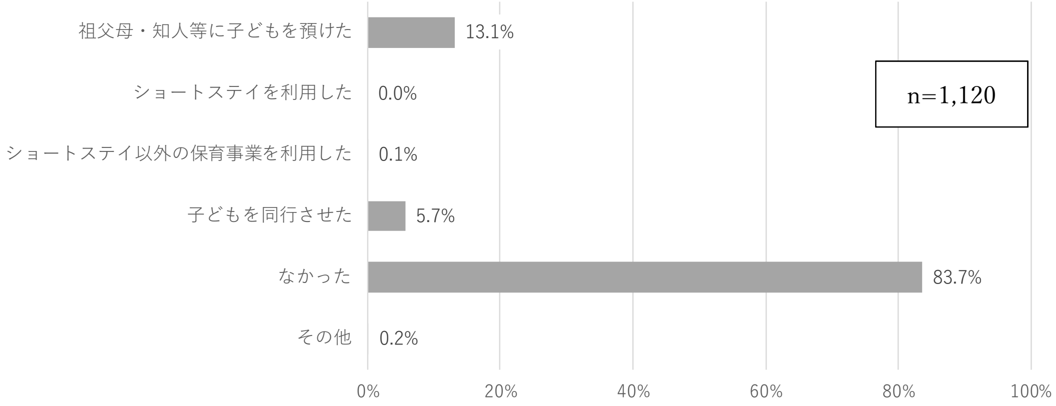


（5）（4）の事業を利用している日数【問 26】

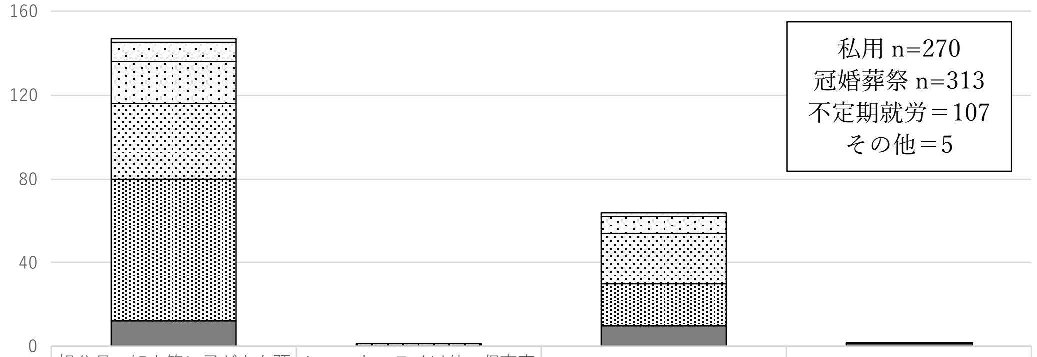


	私用、リフレッシュ	冠婚葬祭	不定期就労	その他
それ以上	30	9	19	
３０日以内	115	68	27	
１０日以内	51	79	17	
５日以内	34	86	19	2
２日以内	17	32	4	1
無回答	23	39	21	2

（６）この１年間に、保護者の都合（冠婚葬祭、家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。あった場合、この一年間の対処方法として当てはまるものを選択してください。【問 27】



（７）（６）で対処した泊数【問 27】



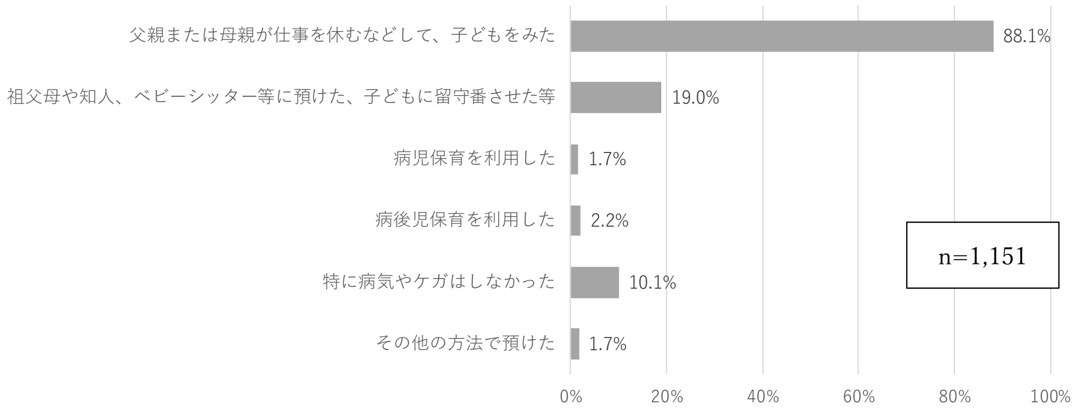
	祖父母・知人等に子どもを預けた	ショートステイ以外の保育事業を利用した	子どもを同行させた	その他
それ以上	2			
３０泊以内	9		2	
１０泊以内	20	1	8	
5 泊以内	36		24	
2 泊以内	68		20	1
無回答	12	0	10	1

7　子どもの病気の際の対応

（1）この1年間（令和4年10月～令和5年11月）で子どもが病気やケガをした場合に、診療後から回復期までの過ごし方【問24】

父親または母親が仕事を休むなどして、子どもをみたが88.1%ともっとも多かった。

過ごした日数は、3～5日が30.8%、6～12日が29.0%であった。



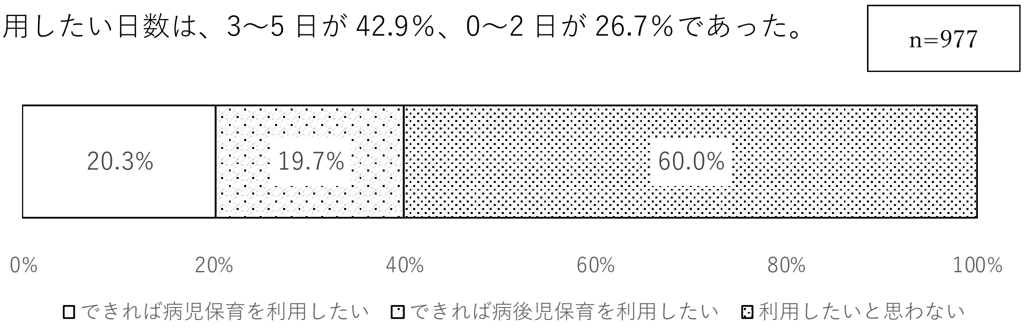
（参考）過ごした日数

日数	0~2日	3~5日	6~12日	13~24日	25~36日	37~48日	49日～	合計(n)
父母	89	230	241	132	70	12	21	795
祖父母	49	70	48	15	0	3	2	187
病児	6	5	3	2	0	0	0	16
病後児	6	9	4	2	0	0	0	21
合計	150	314	296	151	70	15	23	1,019
	14.7%	30.8%	29.0%	14.8%	6.9%	1.5%	2.3%	100.0%

（2）病児・病後児保育を利用しなかった場合、利用したい希望について【問24-1】

利用したいと思わないが 60.0%であった。病児保育、病後児保育ともにできれば利用したいが約20%であった。

利用したい日数は、3～5日が42.9%、0～2日が26.7%であった。

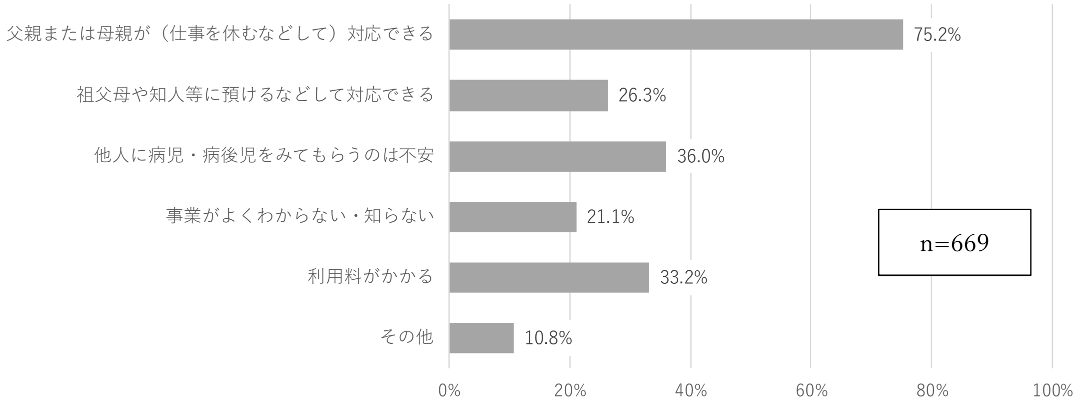


（参考）利用したい日数

日数	0~2日	3~5日	6~12日	13~24日	25~36日	37~48日	49日～	合計(n)
病児	51	83	42	8	8	1	2	195
病後児	53	84	39	8	9	0	1	194
合計	104	167	81	16	17	1	3	389
	26.7%	42.9%	20.8%	4.1%	4.4%	0.3%	0.8%	100.0%

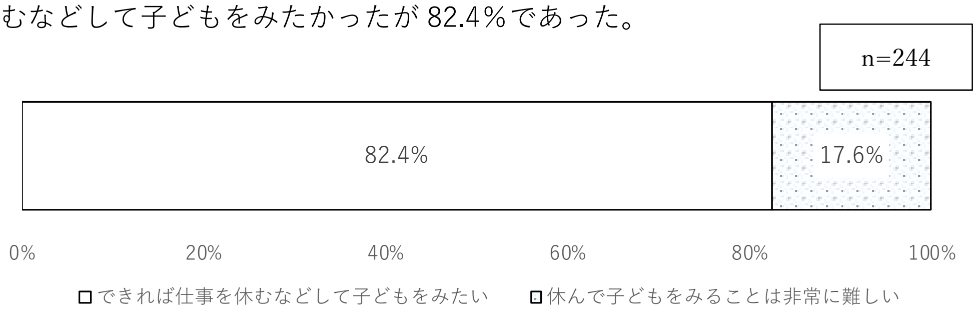
（3）病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由について【問 24-2】

（2）で利用したいと思わなかった方で、父親または母親が仕事を休むなどして対応できるが 75.2%、他人に病児・病後児をみてもらうのは不安が 36.0%、利用料がかかるが 33.2%であった。



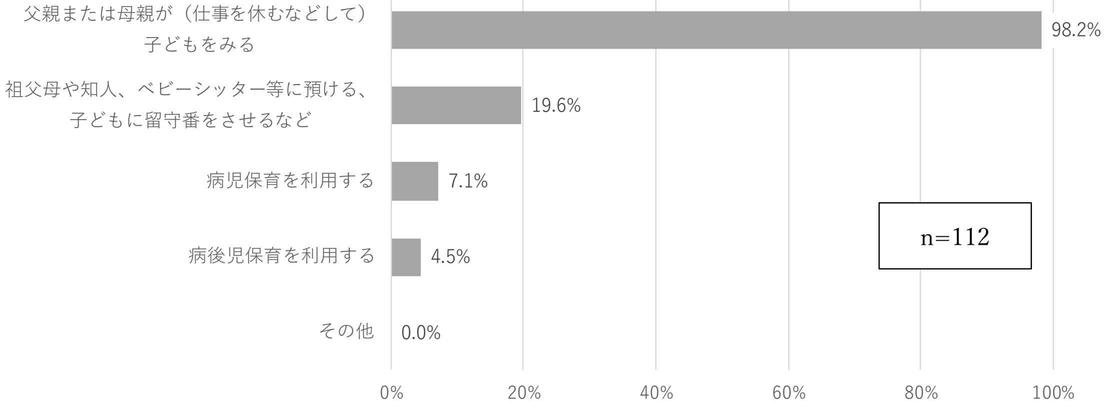
（4）父母のいずれかと過ごせなかった場合、一緒に過ごしたいと希望するか【問 24-3】

（1）で父母が仕事を休むなどして、子どもをみたと選択しなかった方で、できれば仕事を休むなどして子どもをみたかったが 82.4%であった。



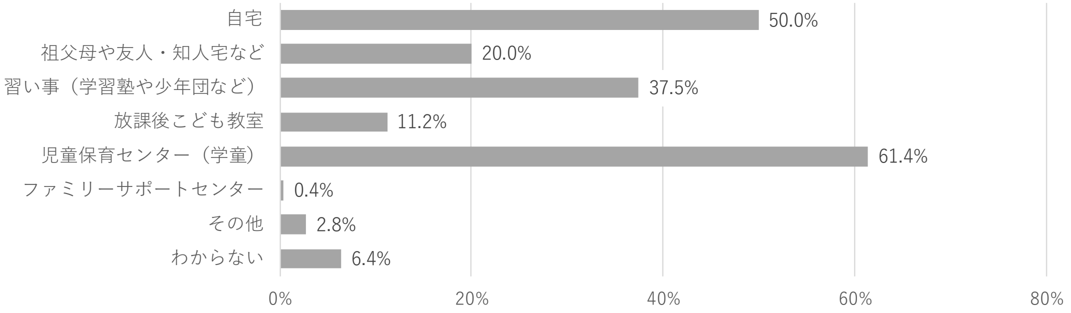
（5）もしケガ・病気等した場合、どのように対処したいか【問 24-4】

（1）で特に病気やケガをしなかった方で、父親または母親が子どもをみるが 98.2%、祖父母や知人等に預ける、子どもに留守番をさせるなどが 19.6%であった。

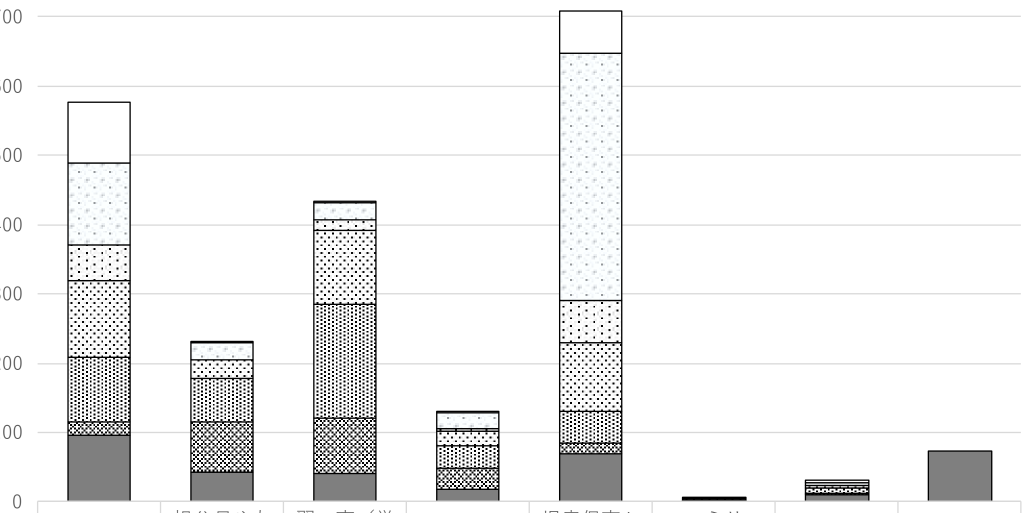


8　小学校入学後の放課後の過ごし方

（1）放課後の過ごし方【問 28】

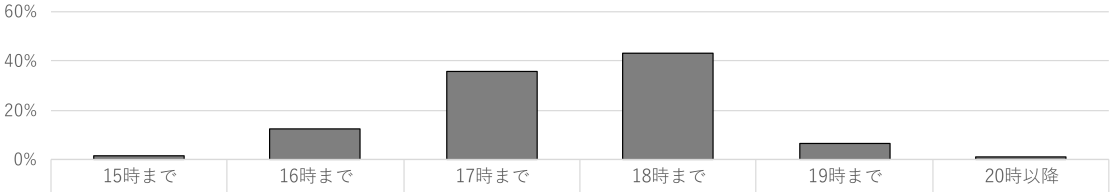


（2）（1）の１週間当たりの日数【問 28】



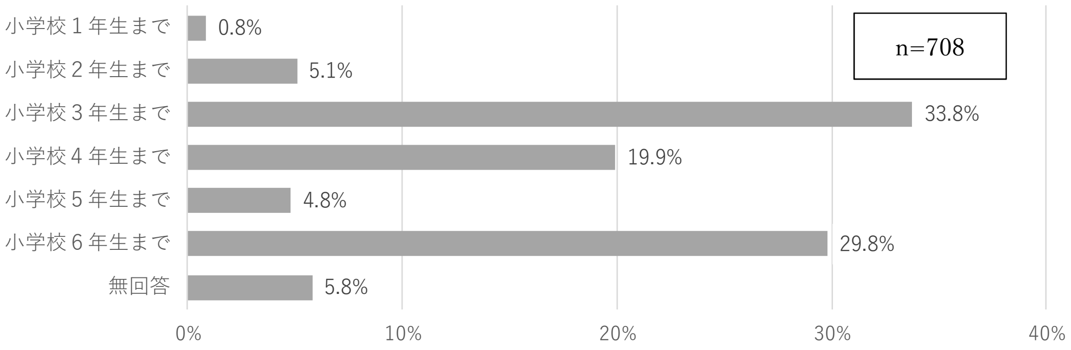
	自宅	祖父母や友人・知人宅など	習い事（学習塾や少年団など）	放課後こども教室	児童保育センター（学童）	ファミリーサポートセンター	その他	わからない
6日以上	87	2	1	1	60	0	4	0
5日	118	24	24	22	358	1	4	0
4日	51	0	16	4	61	0	0	0
3日	111	26	106	22	99	0	5	0
2日	94	64	164	31	45	2	6	0
1日	18	72	80	32	16	1	2	0
無回答	97	43	41	17	69	1	11	74

（3）児童保育センターの利用希望の時間【問 28】

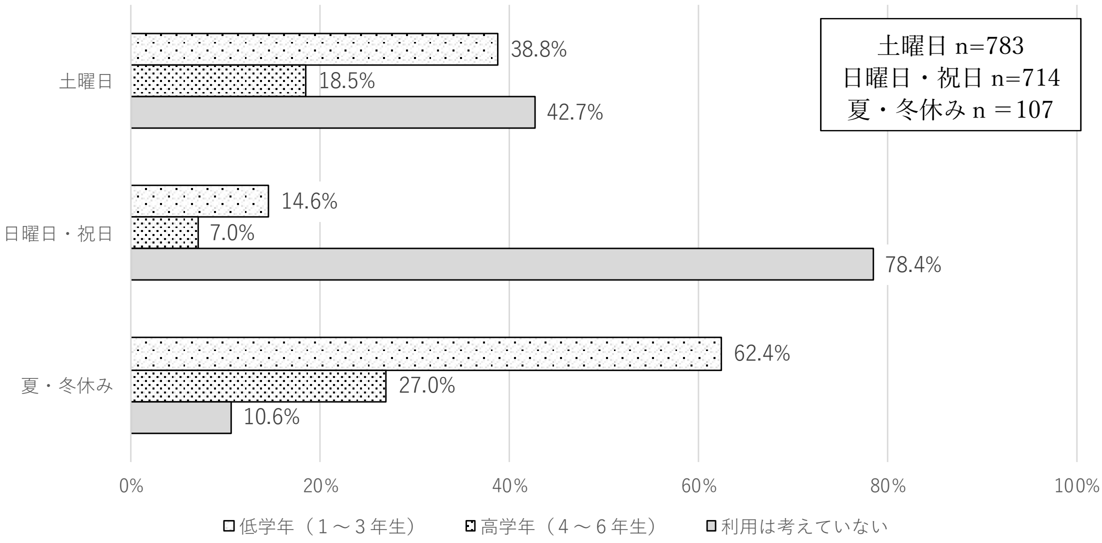


	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	20時以降
■	1.7%	12.2%	35.8%	43.2%	6.3%	0.8%

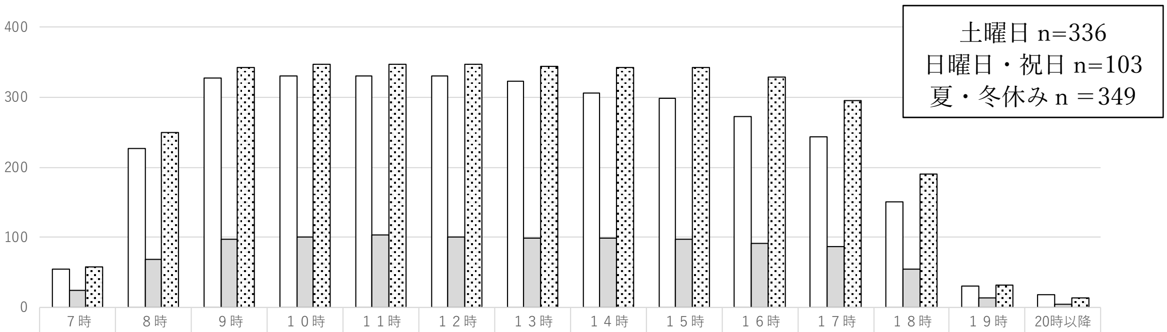
（4）何年生まで利用を希望【問 28-1】



（5）土曜、日曜日・祝日、夏・冬休みの利用を希望【問 29、30】



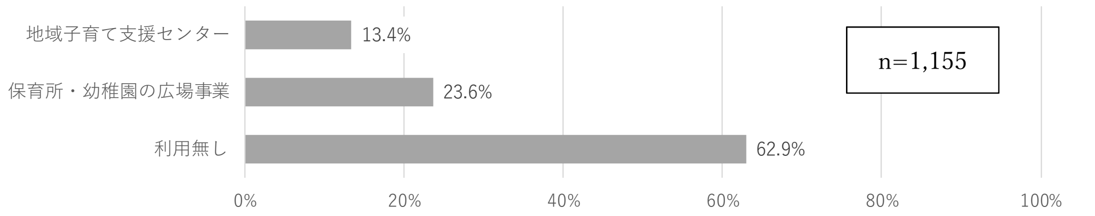
（6）土曜、日曜・祝日、夏・冬休みの利用を希望【問 29、30】



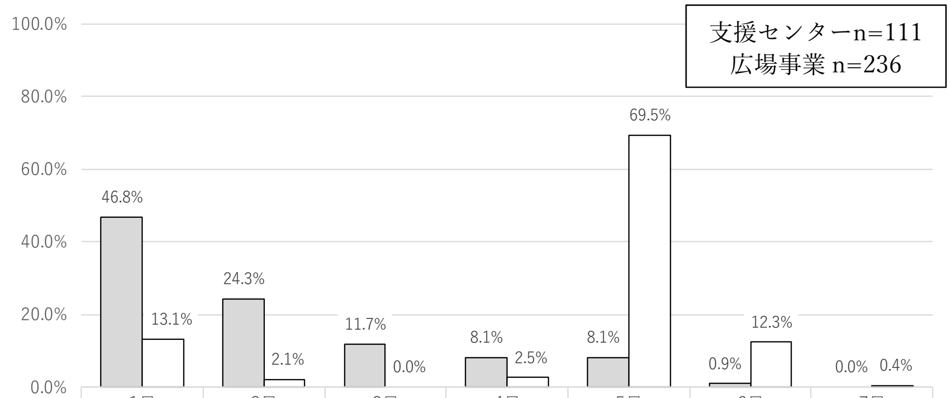
	7時	8時	9時	１０時	１１時	１２時	１３時	１４時	１５時	１６時	１７時	１８時	１９時	20時以降
	55	227	327	331	331	331	323	306	298	273	243	150	30	18
	25	69	98	101	103	100	99	99	97	92	86	54	14	5
	58	249	342	347	347	347	344	343	342	328	295	190	32	13

9　地域の子育て支援事業の利用状況について

（1）地域子育て支援センターなどの利用状況等【問 31】

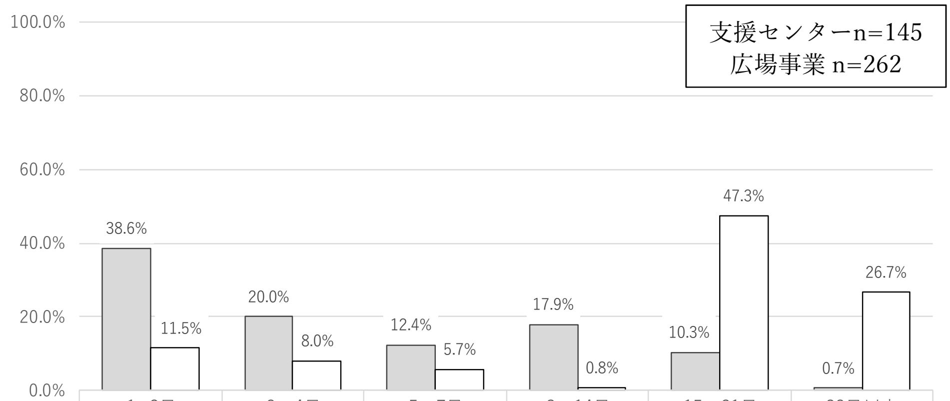


（2）一週間当たりの利用状況（日数）【問 31】



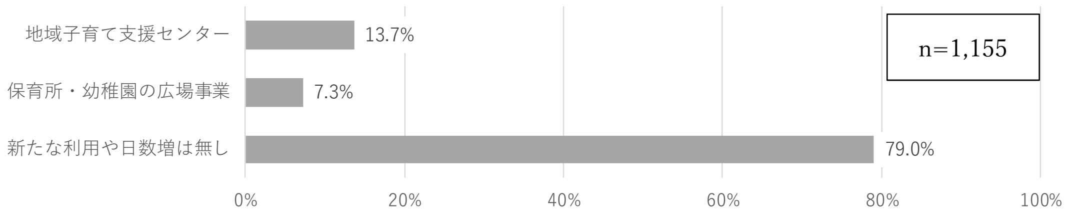
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
地域子育て支援センター	46.8%	24.3%	11.7%	8.1%	8.1%	0.9%	0.0%
保育所・幼稚園の広場事業	13.1%	2.1%	0.0%	2.5%	69.5%	12.3%	0.4%

（3）一ヶ月当たりの利用状況（日数）【問 31】

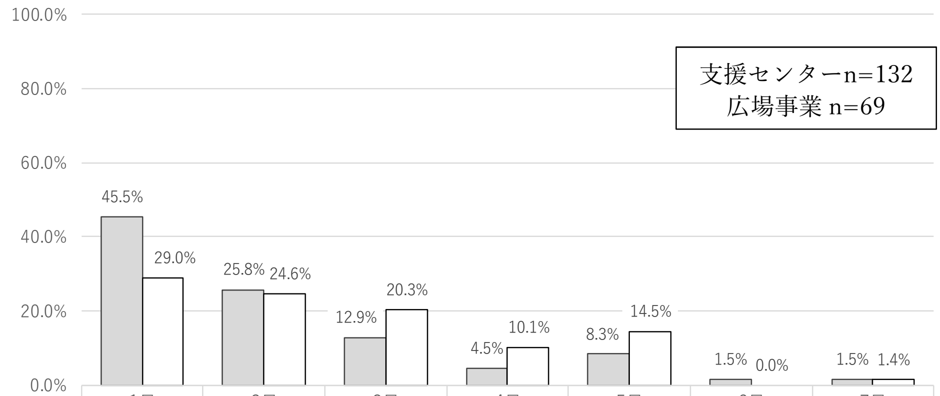


	1~2日	3～4日	5～7日	8～14日	15～21日	22日以上
地域子育て支援センター	38.6%	20.0%	12.4%	17.9%	10.3%	0.7%
保育所・幼稚園の広場事業	11.5%	8.0%	5.7%	0.8%	47.3%	26.7%

（4）地域子育て支援センターなどの今後の利用希望等について【問 31-1】

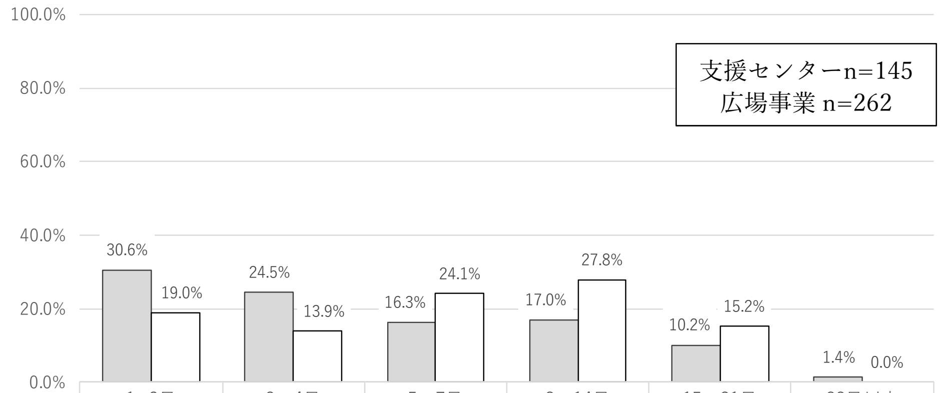


（5）一週間当たりの新たな利用希望や今後の利用の増加について（日数）【問 31-1】



	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
□地域子育て支援センター	45.5%	25.8%	12.9%	4.5%	8.3%	1.5%	1.5%
□保育所・幼稚園の広場事業	29.0%	24.6%	20.3%	10.1%	14.5%	0.0%	1.4%

（6）一ヶ月当たりの新たな利用希望や今後の利用の増加について（日数）【問 31-1】

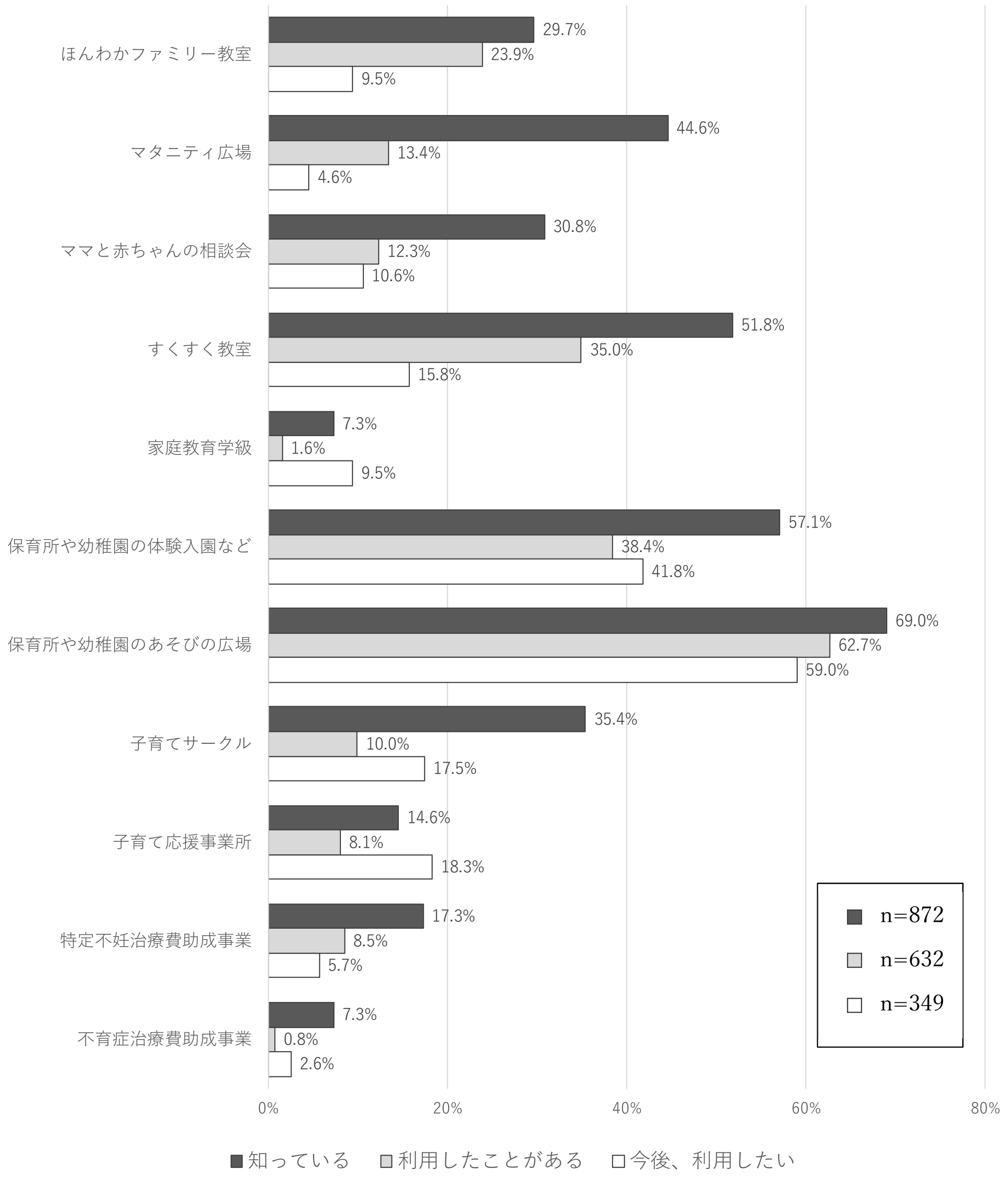


	1~2日	3～4日	5～7日	8～14日	15～21日	22日以上
□地域子育て支援センター	30.6%	24.5%	16.3%	17.0%	10.2%	1.4%
□保育所・幼稚園の広場事業	19.0%	13.9%	24.1%	27.8%	15.2%	0.0%

（7）子育て支援事業の認知、利用状況、利用希望【問 32】

子育て支援事業のうち、「保育所や幼稚園のあそびの広場」を「知っている」「利用したことがある」「今後、利用したい」と回答した人が 50％を超えた。

次に、「保育所や幼稚園の体験入園」「すくすく教室」が多かった。

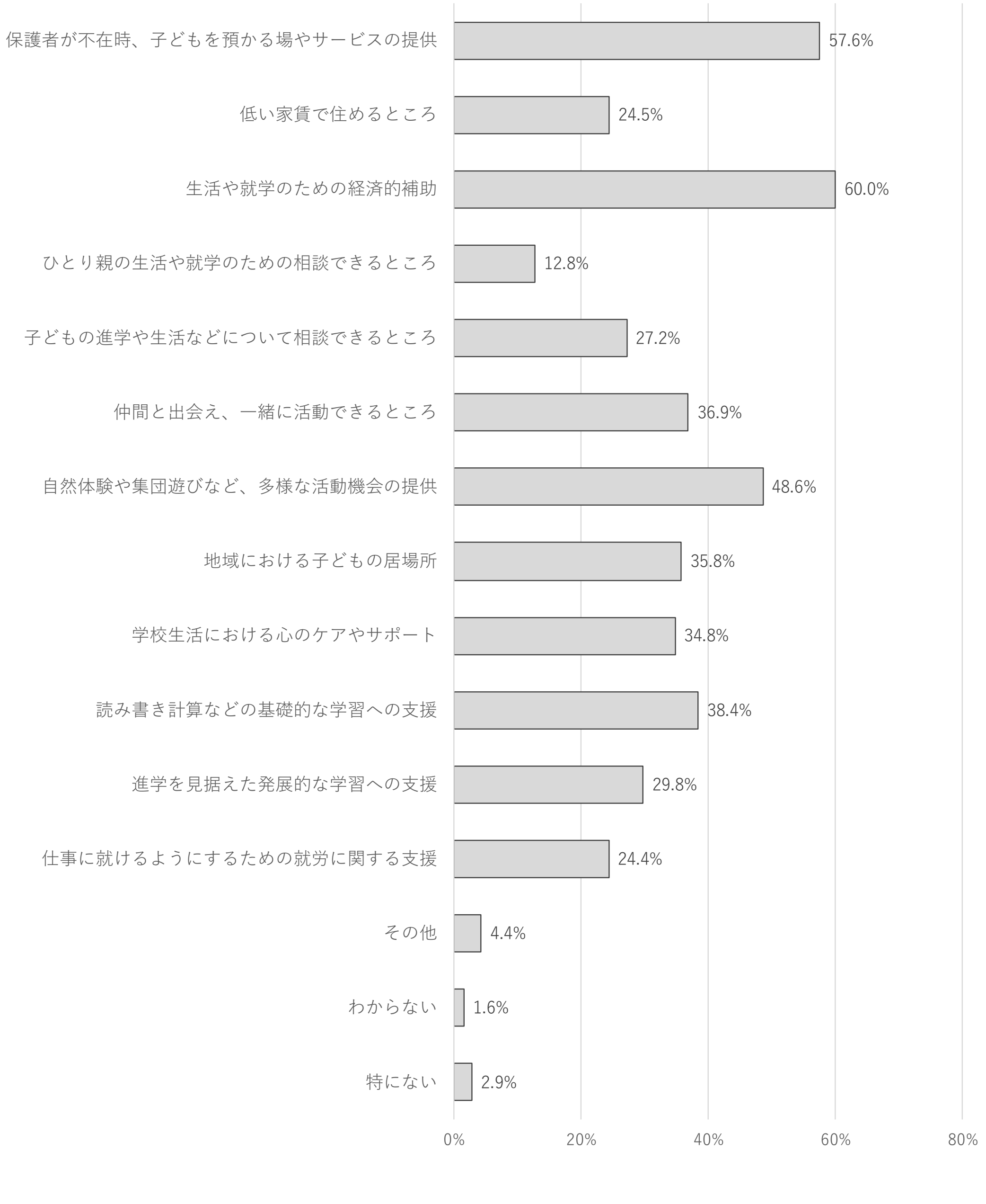


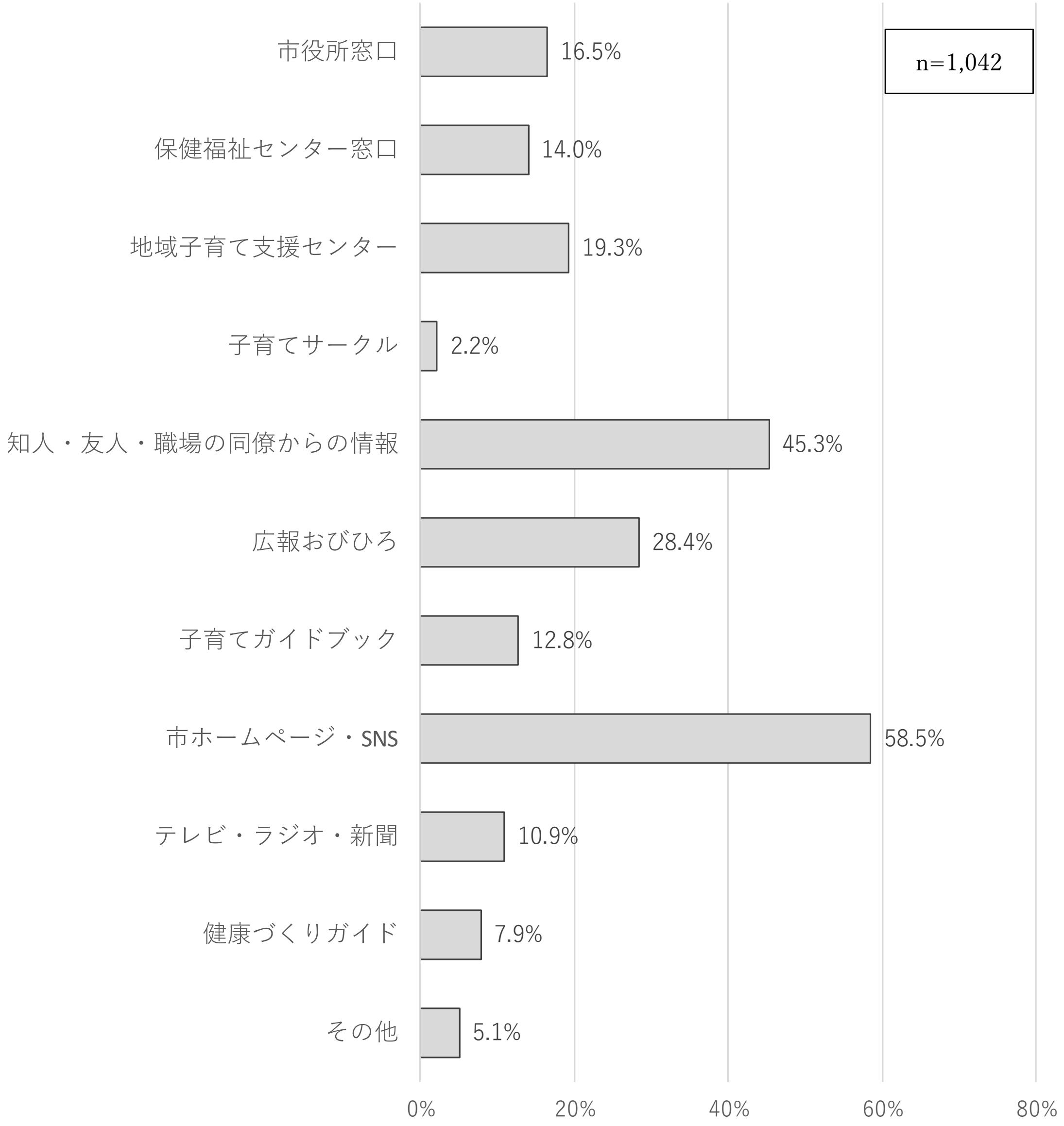
１０　子育てに関する公的支援

（1）利用したい子育て支援【問 33】

必要な公的支援は、「生活や就学のための経済的補助」、「保護者が家にいない時に子どもを預かる場やサービスの提供」、「自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供」の順に希望が多く、前回調査より増加した順に等しくなった。

n=1,103



（2）事業などの情報収集方法【問 34】

市ホームページ・SNS が 58.5%、知人・友人・職場の同僚からの情報が 45.3%、次いで広報おびひろが 28.4%であった。